

ふくしま創生総合戦略等策定支援業務調査報告書
進路希望調査（高校生）

令和元年 11 月

福 島 県

目次

1. アンケート調査の概要	1
2. アンケート調査結果	2
3. まとめ	39
参考資料：アンケート調査票	41

1 アンケート調査の概要

◆ 調査の目的

本県の未来を担う若者の県内定着、将来的な回帰を促す施策の構築に向け、県内の高校生を対象として進路希望などに対する意識調査を行う。

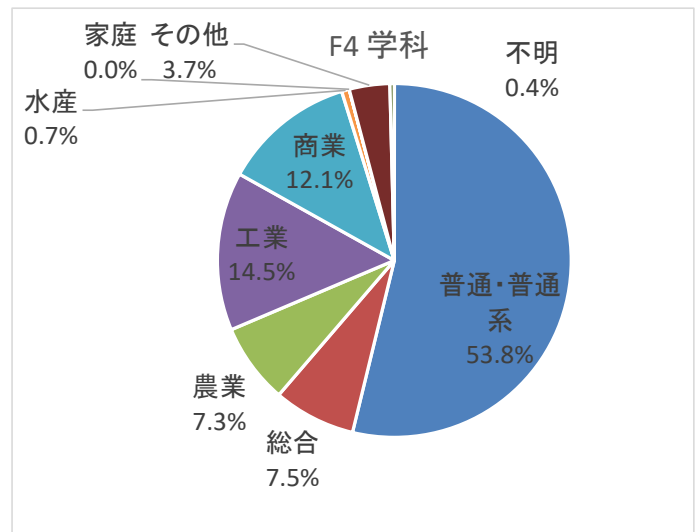
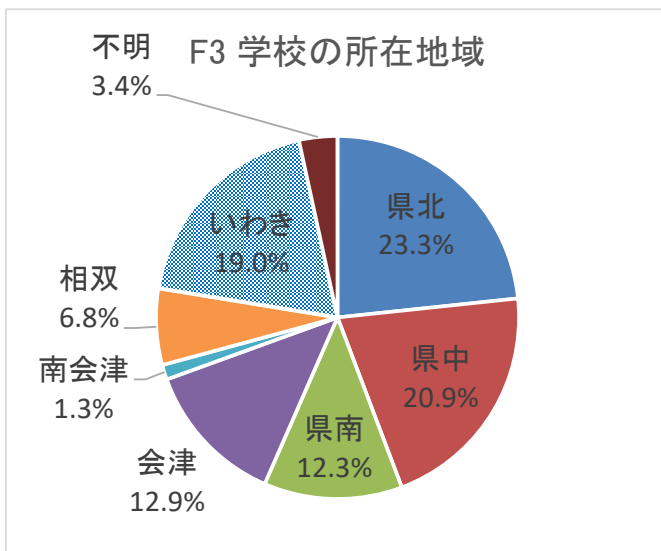
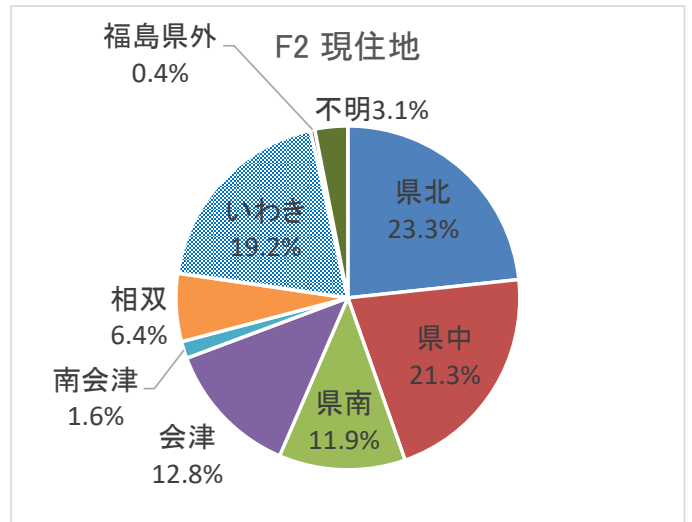
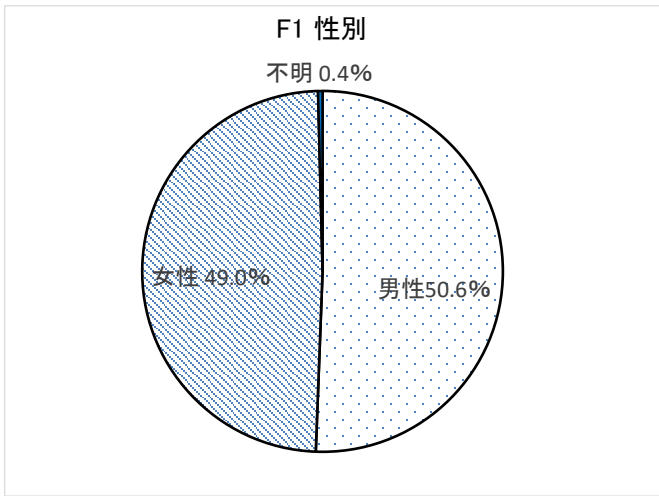
◆ 調査の概要

調査対象	県内の公立高校に通う高校2年生及び3年生
抽出方法	県内の公立高校に通う高校2年生及び3年生
配布数	26,501件 高校2年生 13,032件 高校3年生 13,469件
回収数	12,507件（回収率47.2%）
調査方法	高校2年生：各高校にて配布・回収 高校3年生：各高校にてアンケート調査依頼のチラシを配布し、 WEBフォームで回収
調査期間	高校2年生：令和元年9月中旬～9月下旬 高校3年生：令和元年7月中旬～8月下旬

注：各設問に対する回答割合は不明を除く。アンケート調査データに居住地または性別が不明のデータが含まれ、全合計件数と居住地別合計件数、男女別合計件数が一致していないため、同じ選択肢でも回答割合が異なる場合がある。また、回答割合は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

2 アンケート調査結果

◆属性情報



問1 あなたは高校卒業後、どのような進路を希望していますか。

【全体】

- ・ 高校卒業後の進路は、「大学」(45.6%)の割合が最も高く、「専修学校・各種学校」(17.1%)、「短期大学」(4.1%)、「その他進学」(2.4%)と合わせた大学等進学は69.2%となる。一方、「正社員」(21.8%)、「自営業・自由業」(0.7%)、「パート、アルバイト」(0.5%)、「その他就職」(2.3%)を合わせた就職は25.3%となっている。

【男女別】

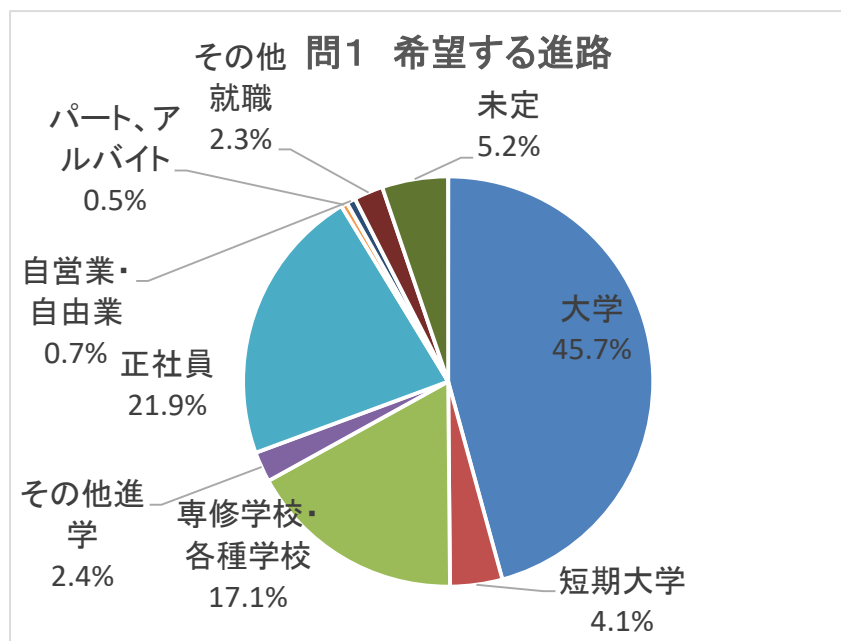
- ・ 「進学」は「大学」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他進学」の合計で、「男性」は63.4%、「女性」は75.8%と「女性」の方が12.4ポイント高い。
- ・ 「専修学校・各種学校」は、「女性」が21.2%と「男性」の13.3%に比べて7.9ポイント高い。
- ・ 「就職」は、「男性」が30.7%、「女性」が19.7%となり、「男性」の方が11.0ポイント高い。



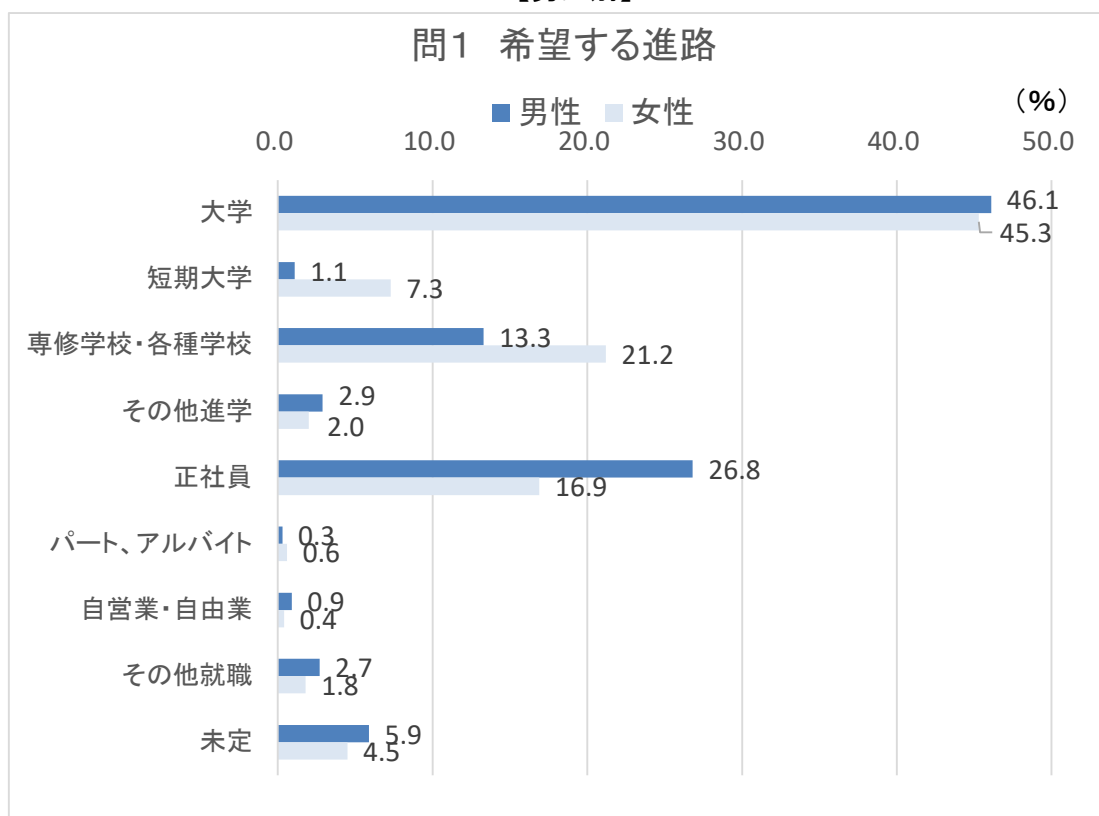
- 総体的にみると、大学等進学希望が約70%、就職希望が約25%となり、大学等進学希望者の割合が就職希望者の割合を大きく上回っている。
- 大学進学希望者の割合は男性が女性をわずかに上回ったものの、女性の短期大学および専修学校・各種学校の進学希望者割合が男性を大きく上回ったため、合計では女性の大学等進学希望者割合が男性を上回った。
- 就職希望者の割合をみると、男性の正社員希望者の割合が女性を大きく上回ったことから、合計でも男性が女性を上回った。
- 福島県が平成31年3月末高校卒業対象予定者に対して行った調査（以下、新規高卒就職調査（H31）という。）¹によれば、就職希望者は男性34.3%、女性は23.1%であり、本調査の結果とほぼ同様の結果であった。なお、同年度の就職内定率は、男性で99.9%、女性で100.0%であり、合わせて99.9%であった。全体の約3割を占める就職希望者のうち、ほぼすべてが就職の希望をかなえられている状況である。

¹ 「平成31年3月新規高等学校等卒業予定者の就職内定状況」（令和元年6月30日時点）福島県高校教育課、私学・法人課調べ）調査対象は県立・私立、全日制・定時制高校。

【全体】



【男女別】



【問1で「大学、短期大学」を選んだ方】

問2 あなたが進学を希望する学部・学科を教えてください。

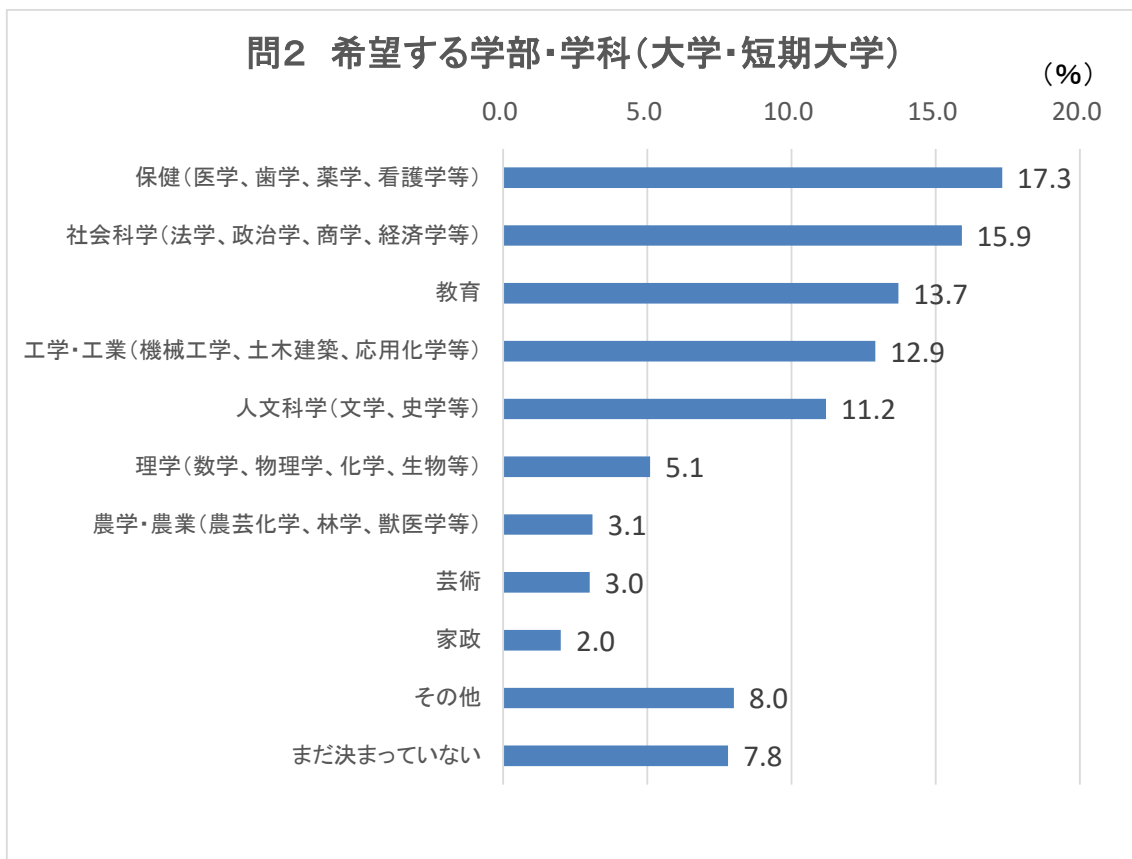
【全体】

- ・ 大学、短期大学への進学希望者が希望する学科は、「保健」(17.3%)の割合が最も高く、次いで、「社会科学」(15.9%)、「教育」(13.7%)などの順となっている。



- 大学・短期大学では、医療関係への進学希望者の割合が最も高い。

【全体】



【問1で「専修学校・各種学校」を選んだ方】

問3 あなたが進学を希望する分野を教えてください。

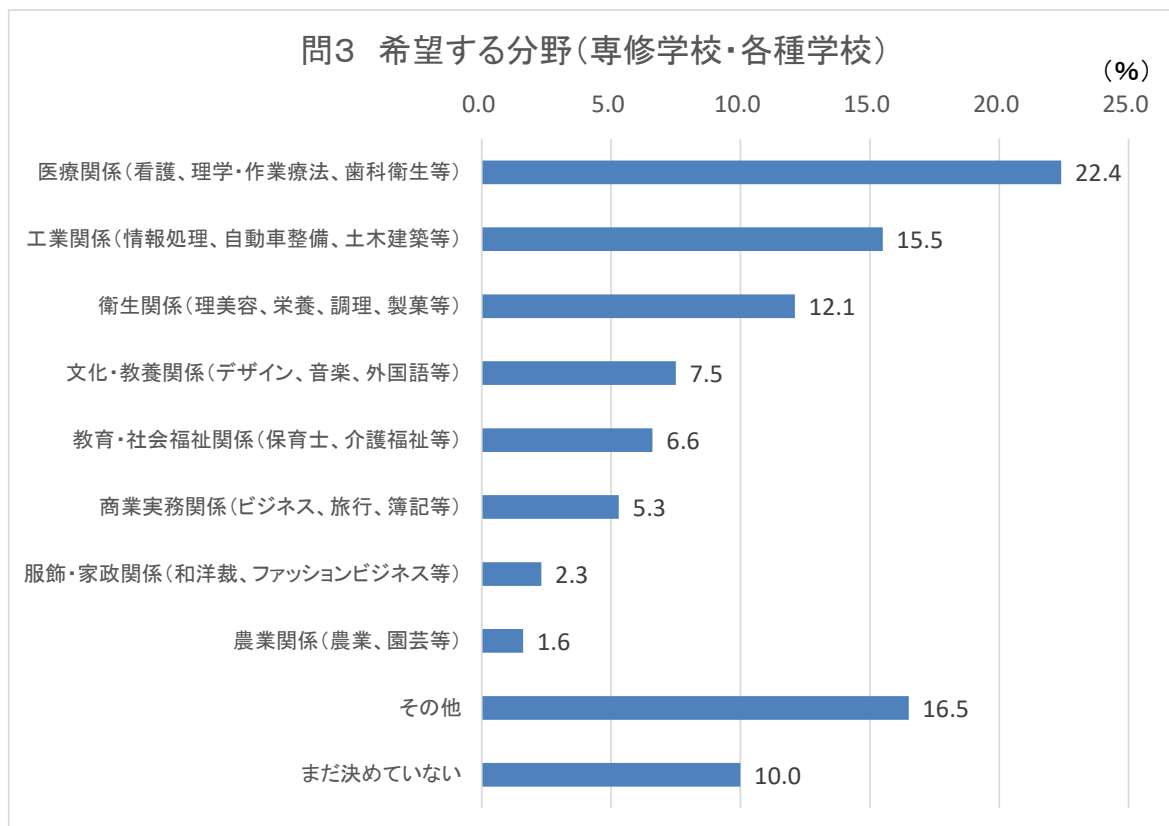
【全体】

- ・ 専修学校・各種学校の進学希望者が希望する分野をみると、「医療関係」(22.4%)が最も高い割合となり、「その他」(16.5%)、「工業関係」(15.5%)の順となっている。



- 専修学校・各種学校でも、大学・短期大学と同様に、医療関係への進学希望者の割合が最も高い。

【全体】



【問1で「大学」、「短期大学」、「専修学校・各種学校」、「その他進学」を選んだ方】

問4 あなたが進学を希望する学校はどの地域にありますか。

【全体】

- ・ 進学を希望する学校の所在地は、「関東」(32.0%)の割合が最も高く、次に「福島県内」(26.8%)、「東北(福島県を除く)」(18.3%)が続く。

【進路別】

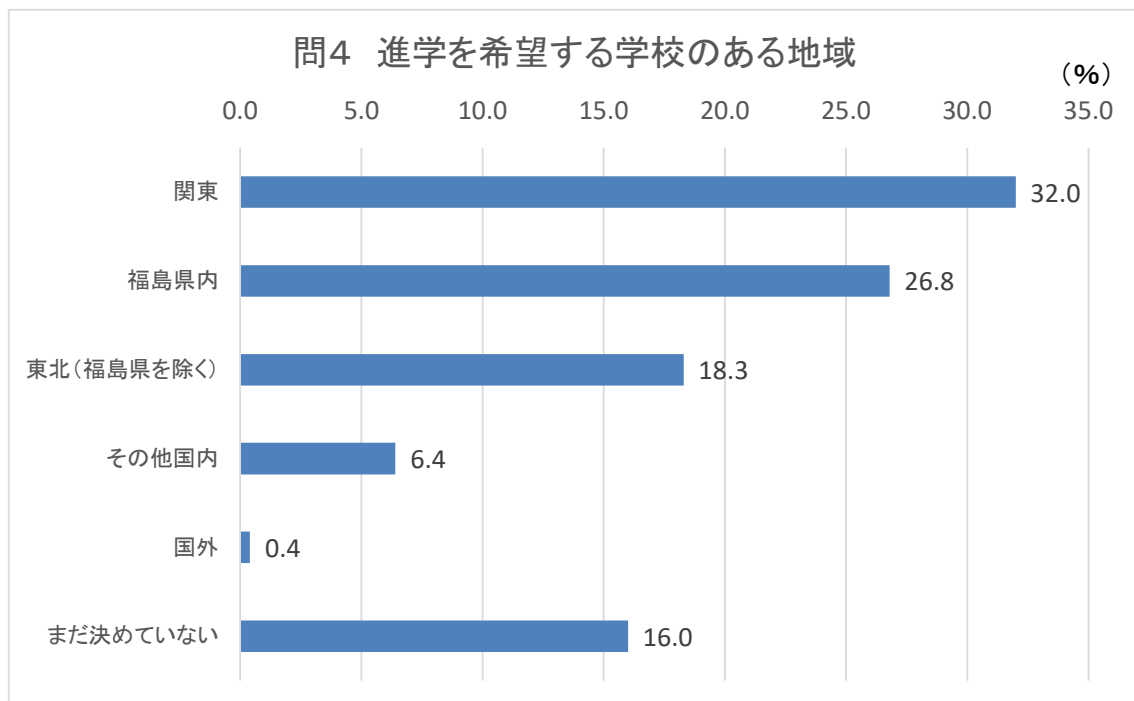
- ・ 進路別にみると、「大学」では「関東」(38.4%)の割合が最も高く、次いで、「福島県内」(19.9%)などとなり、福島県外が合計で64.0%となっている。
- ・ 「短期大学」では「福島県内」(57.6%)、「専修学校・各種学校」でも「福島県内」(36.7%)の割合がそれぞれ最も高い。

【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、「福島県内」の割合が最も高いのは「県中」(32.7%)、「関東」の割合が最も高いのは「いわき」(44.8%)となった(「福島県外」を除く)。

- 大学に進学を希望する人のうち、6割以上が県外への進学を希望している。(約4割が関東へ、約2割が東北への進学を希望している。)
- 短期大学に進学を希望する人のうち、約6割が県内での進学を希望している。
- 専修学校・各種学校の進学希望者のうち、約4割が県内での進学を希望している。
- 「県北」と「県中」では「福島県内」の割合が最も高く、それ以外の居住地では「関東」の割合が最も高い。

【全体】



【進路別】

(単位:件、%)

	合計	福島県内	東北(福島県を除く)	関東	その他国内	国外	まだ決めていない
全体	8,309 100.0	2,226 26.8	1,523 18.3	2,661 32.0	532 6.4	37 0.4	1,330 16.0
大学	5,550 100.0	1,107 19.9	958 17.3	2,131 38.4	440 7.9	22 0.4	892 16.1
短期大学	502 100.0	289 57.6	78 15.5	57 11.4	8 1.6	2 0.4	68 13.5
専修学校・各種学校	2,030 100.0	746 36.7	465 22.9	450 22.2	68 3.3	3 0.1	298 14.7
その他進学	149 100.0	41 27.5	16 10.7	17 11.4	10 6.7	9 6.0	56 37.6

【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	福島県内	東北(福島県を除く)	関東	その他国内	国外	まだ決めていない
全体	8,071 100.0	2,148 26.6	1,484 18.4	2,614 32.4	509 6.3	36 0.4	1,280 15.9
県北	2,026 100.0	608 30.0	496 24.5	449 22.2	123 6.1	6 0.3	344 17.0
県中	1,802 100.0	589 32.7	281 15.6	562 31.2	112 6.2	9 0.5	249 13.8
県南	976 100.0	285 29.2	118 12.1	359 36.8	56 5.7	2 0.2	156 16
会津	1,082 100.0	223 20.6	190 17.6	377 34.8	104 9.6	3 0.3	185 17.1
南会津	114 100.0	36 31.6	18 15.8	42 36.8	8 7.0	- -	10 8.8
相双	549 100.0	84 15.3	237 43.2	140 25.5	13 2.4	5 0.9	70 12.8
いわき	1,492 100.0	319 21.4	141 9.5	668 44.8	91 6.1	10 0.7	263 17.6
福島県外	30 100.0	4 13.3	3 10.0	17 56.7	2 6.7	1 3.3	3 10.0

【問1で「大学」、「短期大学」、「専修学校・各種学校」、「その他進学」を選んだ方】
問5 問4における学校の所在地域を選んだ理由は何ですか。

【全体】

- ・ 学校の所在地域を選んだ理由をみると、「希望する学部・学科がある」(57.9%)の割合が最も高く、次に「希望する学校がある」(42.2%)が続き、この2つの割合が圧倒的に高い。

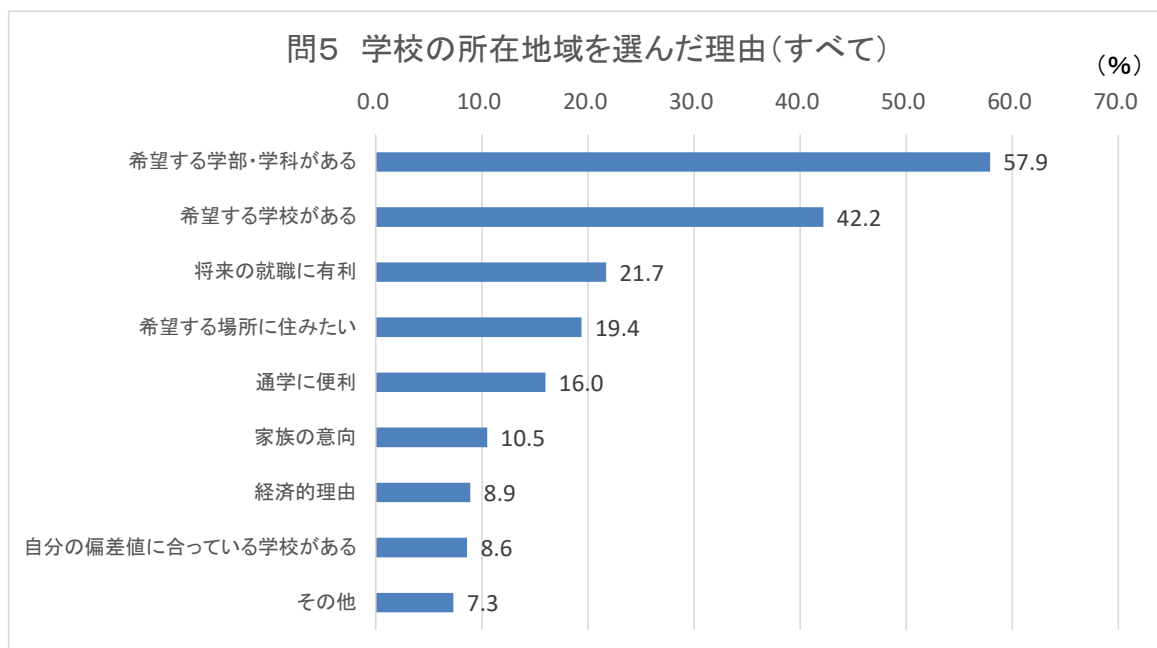
【居住地別】

- ・ 居住地別に学校の所在地域を選んだ理由をみると、すべての居住地で「希望する学部・学科がある」の割合が最も高い。



- 学校の所在地域を選ぶ理由は、自分が学びたい学部・学科を持つ学校がその地域にあるためとみられる。このため、「大学」進学希望者の6割以上が県外の大学を希望するのは、県外の大学に自分が学びたい学部・学科があることが第一の理由と考えられる。

【全体】



【居住地別】

	合計	希望する学部・ 学科がある	希望する学校 がある	将来の就職に 有利	自分の偏差値 に合っている 学校がある	希望する場所 に住みたい	通学に便利	家族の意向	経済的理由	その他
全体	8,003 100.0	4,628 57.8	3,391 42.4	1,747 21.8	684 8.5	1562 19.5	1278 16.0	843 10.5	718 9.0	571 7.1
県北	2,026 100.0	1,157 57.1	797 39.3	402 19.8	179 8.8	343 16.9	387 19.1	250 12.3	207 10.2	157 7.7
県中	1,761 100.0	1,011 57.4	772 43.8	379 21.5	136 7.7	357 20.3	325 18.5	183 10.4	161 9.1	100 5.7
県南	958 100.0	581 60.6	409 42.7	203 21.2	90 9.4	183 19.1	172 18.0	108 11.3	92 9.6	67 7.0
会津	1,077 100.0	655 60.8	480 44.6	264 24.5	102 9.5	248 23	131 12.2	106 9.8	91 8.4	85 7.9
南会津	115 100.0	64 55.7	53 46.1	29 25.2	14 12.2	20 17.4	12 10.4	11 9.6	11 9.6	7 6.1
相双	548 100.0	303 55.3	248 45.3	122 22.3	48 8.8	89 16.2	60 10.9	48 8.8	43 7.8	40 7.3
いわき	1,489 100.0	842 56.5	620 41.6	339 22.8	112 7.5	313 21.0	184 12.4	133 8.9	110 7.4	113 7.6
福島県外	29 100.0	15 51.7	12 41.4	9 31.0	3 10.3	9 31.0	7 24.1	4 13.8	3 10.3	2 6.9

【問1で「就職」を選んだ方】

問6 あなたが就職先を検討する際、重視することは何ですか。

【全体】

- ・ 就職先を検討する際に重視する点を見ると、「給料の高さ」(55.1%)の割合が最も高く、次に「仕事のやりがい」(54.3%)、「自分の能力や適性に合っている」(52.6%)などが続く。

【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、「県北」「県南」「南会津」「相双」「いわき」では「給料の高さ」の割合が最も高く、「県中」「会津」「福島県外」では「仕事のやりがい」の割合が最も高い。

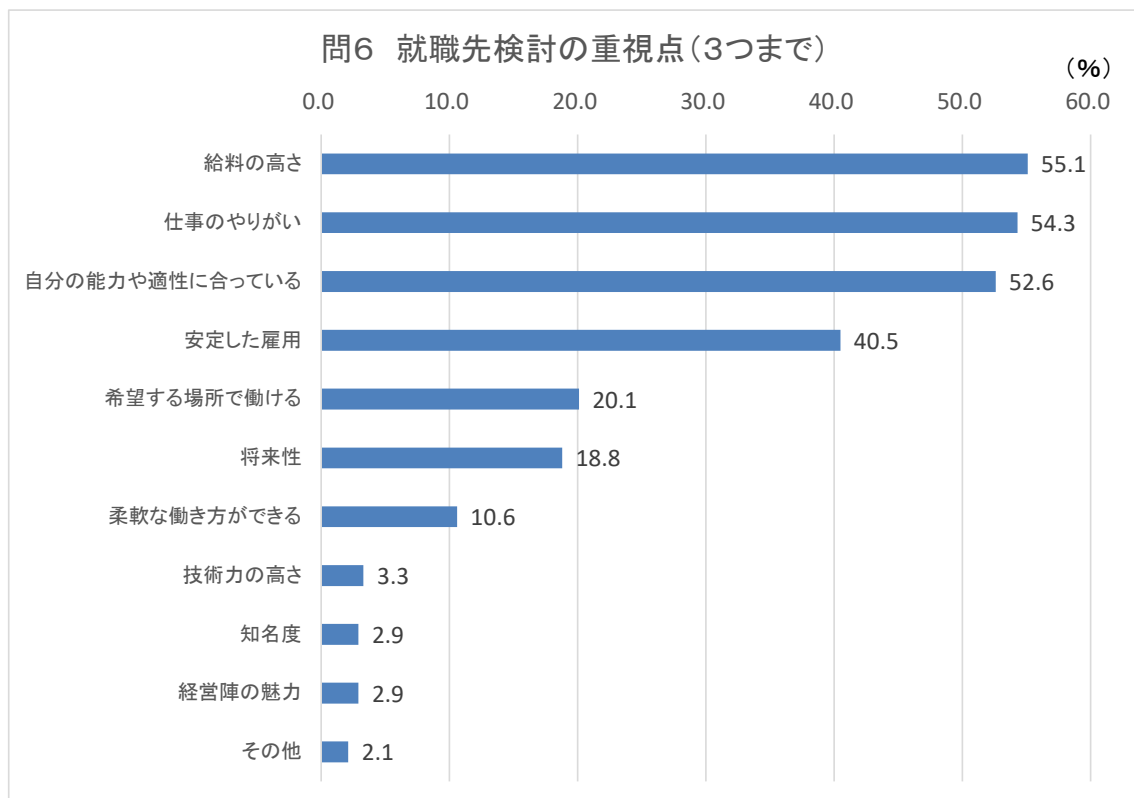
【男女別】

- ・ 男女別にみると、「男性」では「給料の高さ」、「女性」では「自分の能力や適性に合っている」の割合がそれぞれ最も高い。



- 就職先を検討する際に重視する点を見ると、総体では給料の高さを最も重視するものとみられる。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	仕事のやりがい	自分の能力や適性に合っている	給料の高さ	安定した雇用	柔軟な働き方ができる	希望する場所で働ける	将来性	技術力の高さ	知名度	経営陣の魅力	その他
全体	4,259 100.0	2,310 54.2	2,231 52.4	2,355 55.3	1,727 40.5	453 10.6	857 20.1	808 19.0	143 3.4	125 2.9	121 2.8	91 2.1
県北	923 100.0	502 54.4	496 53.7	510 55.3	378 41.0	94 10.2	166 18.0	171 18.5	27 2.9	24 2.6	27 2.9	15 1.6
県中	993 100.0	557 56.1	533 53.7	517 52.1	399 40.2	100 10.1	208 20.9	171 17.2	31 3.1	19 1.9	25 2.5	23 2.3
県南	548 100.0	293 53.5	278 50.7	310 56.6	247 45.1	58 10.6	105 19.2	108 19.7	18 3.3	19 3.5	15 2.7	18 3.3
会津	591 100.0	329 55.7	297 50.3	325 55.0	244 41.3	63 10.7	127 21.5	122 20.6	24 4.1	19 3.2	18 3.0	6 1.0
南会津	75 100.0	37 49.3	31 41.3	40 53.3	32 42.7	5 6.7	14 18.7	13 17.3	4 5.3	3 4.0	1 1.3	1 1.3
相双	243 100.0	131 53.9	132 54.3	138 56.8	94 38.7	24 9.9	53 21.8	57 23.5	6 2.5	10 4.1	6 2.5	6 2.5
いわき	873 100.0	453 51.9	459 52.6	509 58.3	331 37.9	107 12.3	180 20.6	162 18.6	32 3.7	31 3.6	29 3.3	21 2.4
福島県外	13 100.0	8 61.5	5 38.5	6 46.2	2 15.4	2 15.4	4 30.8	4 30.8	1 7.7	-	-	1 7.7

【男女別】

(単位:件、%)

	合計	仕事のやりがい	自分の能力や適性に合っている	給料の高さ	安定した雇用	柔軟な働き方ができる	希望する場所で働ける	将来性	技術力の高さ	知名度	経営陣の魅力	その他
全体	4,259 100.0	2,310 54.2	2,231 52.4	2,355 55.3	1,727 40.5	453 10.6	857 20.1	808 19.0	143 3.4	125 2.9	121 2.8	91 2.1
男性	2,619 100	1,442 55.1	1,338 51.1	1,478 56.4	978 37.3	237 9.0	465 17.8	505 19.3	114 4.4	91 3.5	67 2.6	56 2.1
女性	1,760 100	934 53.1	966 54.9	938 53.3	798 45.3	228 13.0	415 23.6	319 18.1	30 1.7	36 2.0	58 3.3	38 2.2

【問1で「就職」を選んだ方】

問7 将来、どの地域で働きたいですか。

【全体】

- 希望する勤務地をみると、「福島県内」(45.2%)の割合が最も高く、次に「まだ決めていない」(27.8%)、「関東」(16.2%)などの順となった。

【居住地別】

- 居住地別にみると、すべての居住地で「福島県内」の割合が最も高く、「福島県外」を除いて、「まだ決めていない」の割合が次に高い。

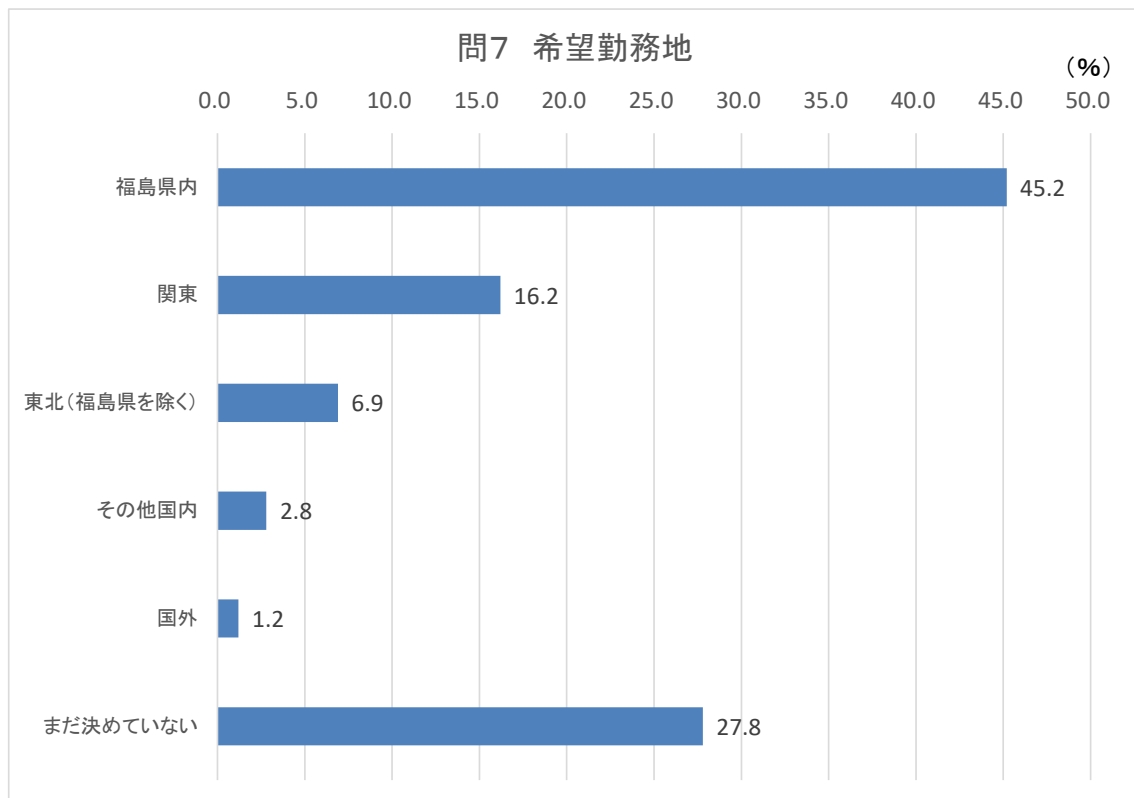
【男女別】

- 男女別にみると、「男性」「女性」とも「福島県内」の割合が最も高く、「まだ決めていない」の割合が次に高い。



- 県内高校生の現在における希望勤務地をみると、福島県内の割合が最も高いという結果が得られた。但し、まだ決めていない者が3割程度を占めていることから、最終的な希望勤務地の福島県内、福島県外それぞれの割合は大きく変わる可能性がある。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	福島県内	東北(福島県を除く)	関東	その他国内	国外	まだ決めていない
全体	5,757 100.0	2,599 45.1	402 7.0	937 16.3	158 2.7	67 1.2	1,594 27.7
県北	1,278 100.0	627 49.1	104 8.1	162 12.7	32 2.5	17 1.3	336 26.3
県中	1,354 100.0	618 45.6	80 5.9	227 16.8	36 2.7	24 1.8	369 27.3
県南	738 100.0	356 48.2	40 5.4	113 15.3	15 2.0	9 1.2	205 27.8
会津	757 100.0	300 39.6	61 8.1	147 19.4	25 3.3	8 1.1	216 28.5
南会津	102 100.0	42 41.2	7 6.9	19 18.6	3 2.9	-	31 30.4
相双	375 100.0	152 40.5	60 16.0	49 13.1	7 1.9	1 0.3	106 28.3
いわき	1,136 100.0	497 43.8	50 4.4	214 18.8	39 3.4	8 0.7	328 28.9
福島県外	17 100.0	7 41.2	-	6 35.3	1 5.9	-	3 17.6

【男女別】

(単位:件、%)

	合計	福島県内	東北(福島県を除く)	関東	その他国内	国外	まだ決めていない
全体	5,917 100.0	2,670 45.1	412 7.0	957 16.2	165 2.8	71 1.2	1,642 27.8
男性	3,398 100.0	1,577 46.4	241 7.1	474 13.9	110 3.2	34 1.0	962 28.3
女性	2,519 100.0	1,093 43.4	171 6.8	483 19.2	55 2.2	37 1.5	680 27.0

【問7で「福島県内」を選んだ方】

問8 将来、福島県内のどの地域で働きたいですか。

【全体】

- ・ 福島県内で希望する勤務地をみると、「まだ決めていない」(32.8%)の割合が最も高く、次に「県中」(17.9%)、「県北」(14.6%)などの順となった。

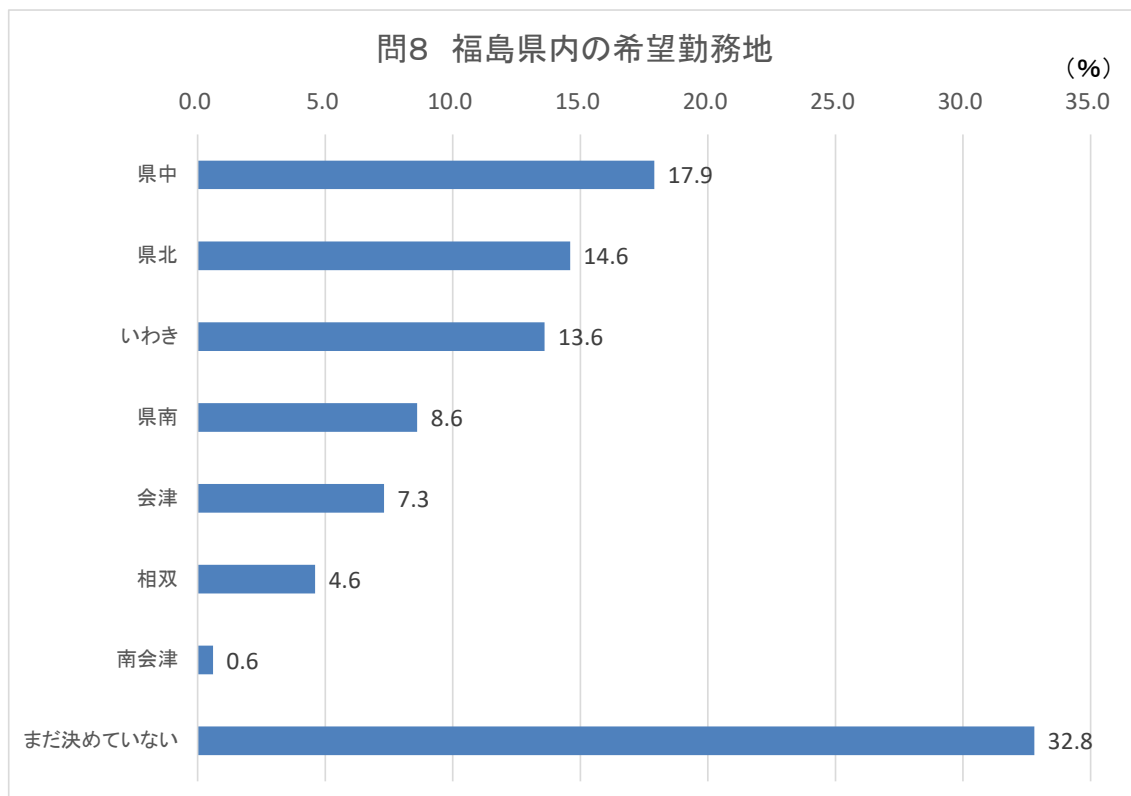
【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、「福島県外」を除いたすべての居住地で、自分の居住地の割合が最も高い。



- 福島県内の勤務を希望している高校生でも、福島県内のどの地域で勤務したいのかまでは決めていないとの回答割合が3割超を占めて最も高かった。但し、勤務したい地域を決めているとの回答では、自分の居住地で勤務したいとの割合が最も高かった。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	まだ決めていない
全体	2,779 100.0	409 14.7	500 18.0	243 8.7	203 7.3	18 0.6	130 4.7	386 13.9	890 32.0
県北	654 100.0	379 58.0	24 3.7	4 0.6	1 0.2	1 0.2	5 0.8	2 0.3	238 36.4
県中	660 100.0	7 1.1	414 62.7	11 1.7	- -	1 0.2	10 1.5	5 0.8	212 32.1
県南	391 100.0	6 1.5	28 7.2	220 56.3	1 0.3	- -	4 1	6 1.5	126 32.2
会津	306 100.0	7 2.3	10 3.3	1 0.3	187 61.1	1 0.3	2 0.7	1 0.3	97 31.7
南会津	50 100.0	1 2.0	4 8.0	2 4.0	13 26.0	15 30.0	- -	1 2.0	14 28.0
相双	165 100.0	3 1.8	3 1.8	- -	- -	- -	106 64.2	5 3.0	48 29.1
いわき	544 100.0	6 1.1	16 2.9	4 0.7	- -	- -	2 0.4	365 67.1	151 27.8
福島県外	9 100.0	- -	1 11.1	1 11.1	1 11.1	- -	1 11.1	1 11.1	4 44.4

【問1で「就職」を選んだ方】

問9 勤務地を希望する理由は何ですか。

【全体】

- ・ 勤務地を希望した理由をみると、「通勤に便利」(41.3%)の割合が最も高く、次に「希望する場所に住みたい」(33.6%)、「希望する企業がある」(29.5%)などの順となった。

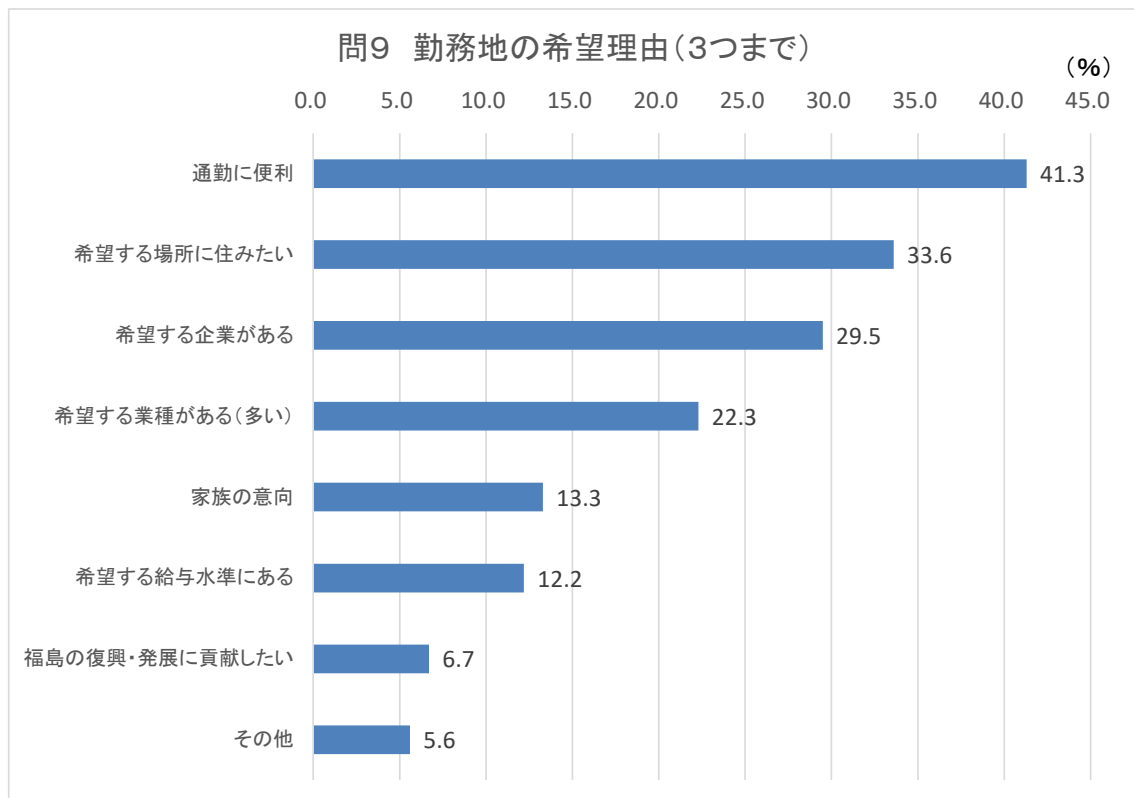
【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、「県北」「県中」「県南」が「通勤に便利」、「会津」「相双」が「希望する場所に住みたい」、「南会津」「福島県外」が「希望する企業がある」の割合がそれぞれ最も高い。



- 高校生が勤務地を希望する理由をみると、仕事よりも利便性や生活面を優先的に考えて選択しているものとみられる。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	希望する企業がある	希望する業種がある(多い)	希望する給与水準にある	希望する場所に住みたい	通勤に便利	家族の意向	福島の復興・発展に貢献したい	その他
全体	4,301 100.0	1,270 29.5	963 22.4	528 12.3	1,451 33.7	1,773 41.2	566 13.2	291 6.8	241 5.6
県北	936 100.0	264 28.2	202 21.6	108 11.5	313 33.4	393 42.0	128 13.7	75 8.0	53 5.7
県中	990 100.0	237 23.9	219 22.1	121 12.2	339 34.2	428 43.2	115 11.6	63 6.4	53 5.4
県南	579 100.0	200 34.5	140 24.2	69 11.9	178 30.7	275 47.5	77 13.3	25 4.3	34 5.9
会津	598 100.0	202 33.8	142 23.7	77 12.9	225 37.6	192 32.1	69 11.5	38 6.4	39 6.5
南会津	74 100.0	28 37.8	14 18.9	6 8.1	16 21.6	26 35.1	14 18.9	8 10.8	2 2.7
相双	247 100.0	73 29.6	41 16.6	24 9.7	100 40.5	94 38.1	35 14.2	35 14.2	13 5.3
いわき	863 100.0	259 30.0	202 23.4	121 14.0	276 32.0	361 41.8	127 14.7	46 5.3	47 5.4
福島県外	14 100.0	7 50.0	3 21.4	2 14.3	4 28.6	4 28.6	1 7.1	1 7.1	- -

【問1で「就職」を選んだ方】

問10 あなたが就職したい業種を教えてください。

【全体】

- ・ 就職したい業種をみると、「未定」(18.8%)の割合が最も高かった。また、具体的な業種では、「製造業」(17.0%)の割合が最も高く、次に「その他」(12.4%)、「医療・福祉」(10.9%)、「公務」(10.0%)などの順となった。

【居住地別】

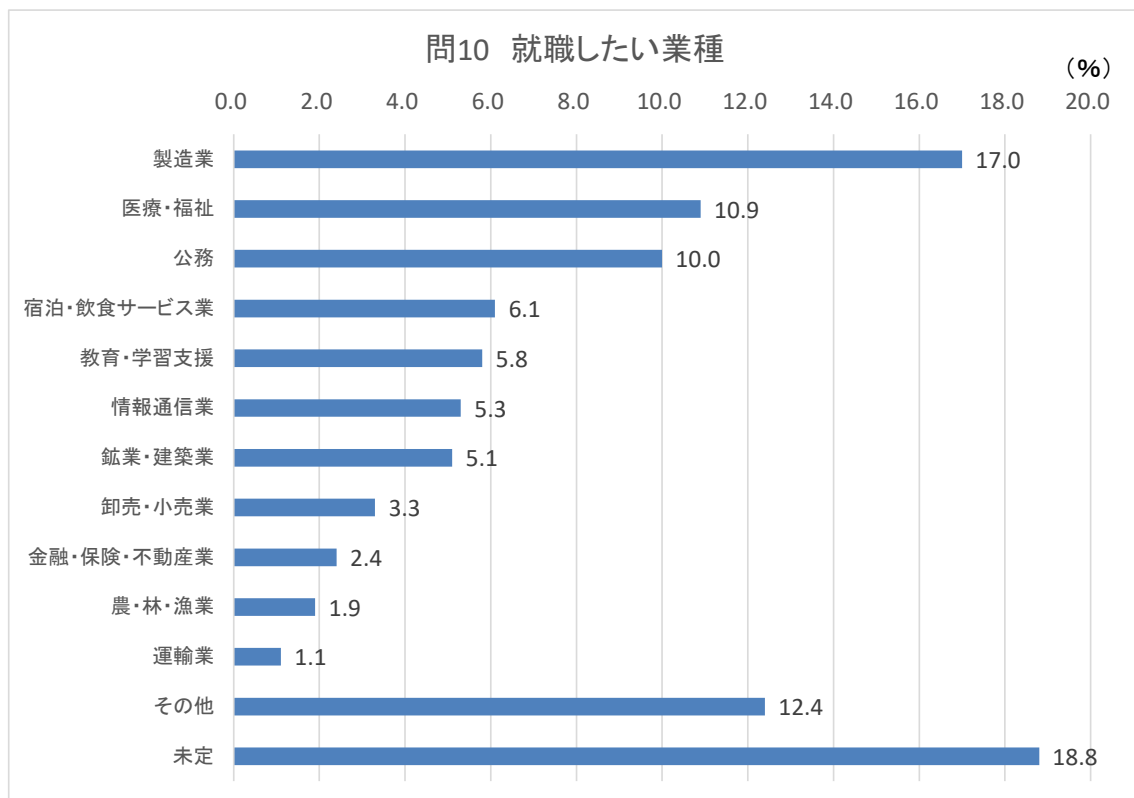
- ・ 居住地別にみると、「県北」「県中」「相双」「いわき」では「未定」、「県南」「会津」「福島県外」では「製造業」、「南会津」では「公務」の割合がそれぞれ最も高い。

【男女別】

- ・ 男女別にみると、「男性」では「製造業」(22.4%)の割合が最も高かった。また、「女性」では「未定」(18.1%)の割合が最も高く、具体的な業種をみると、「医療・福祉」(17.6%)の割合が最も高かった。

- 現時点で就職を希望している高校生でも、具体的な業種を決めていない割合が2割程度を占めて最も高い割合となった。一方、具体的な業種を決めている高校生では、男性が製造業、女性が医療・福祉の割合が最も高い。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	農・林・漁業	鉱業・建築業	製造業	情報通信業	運輸業	金融・保険・ 不動産業	卸売・小売業	宿泊・飲食 サービス業	医療・福祉	教育・学習 支援	公務	その他	未定
全体	5,322 100.0	95 1.8	273 5.1	904 17.0	285 5.4	61 1.1	127 2.4	175 3.3	331 6.2	585 11.0	305 5.7	535 10.1	655 12.3	991 18.6
県北	1,181 100.0	19 1.6	51 4.3	174 14.7	66 5.6	17 1.4	31 2.6	44 3.7	63 5.3	128 10.8	77 6.5	148 12.5	145 12.3	218 18.5
県中	1,238 100.0	23 1.9	61 4.9	175 14.1	83 6.7	8 0.6	30 2.4	57 4.6	92 7.4	139 11.2	72 5.8	133 10.7	147 11.9	218 17.6
県南	693 100.0	7 1.0	35 5.1	179 25.8	33 4.8	5 0.7	15 2.2	14 2	43 6.2	77 11.1	39 5.6	56 8.1	77 11.1	113 16.3
会津	710 100.0	10 1.4	36 5.1	153 21.5	25 3.5	10 1.4	12 1.7	24 3.4	36 5.1	68 9.6	44 6.2	84 11.8	88 12.4	120 16.9
南会津	92 100.0	1 1.1	1 1.1	14 15.2	3 3.3	5 5.4	1 1.1	2 2.2	7 7.6	8 8.7	4 4.3	20 21.7	7 7.6	19 20.7
相双	341 100.0	12 3.5	24 7.0	51 15.0	21 6.2	1 0.3	9 2.6	7 2.1	23 6.7	44 12.9	18 5.3	20 5.9	38 11.1	73 21.4
いわき	1,049 100.0	22 2.1	63 6.0	154 14.7	53 5.1	14 1.3	29 2.8	25 2.4	66 6.3	121 11.5	50 4.8	73 7.0	151 14.4	228 21.7
福島県外	18 100.0	1 5.6	2 11.1	4 22.2	1 5.6	1 5.6	-	2 11.1	1 5.6	-	1 5.6	1 5.6	2 11.1	2 11.1

【男女別】

(単位:件、%)

	合計	農・林・漁業	鉱業・建築業	製造業	情報通信業	運輸業	金融・保険・ 不動産業	卸売・小売業	宿泊・飲食 サービス業	医療・福祉	教育・学習 支援	公務	その他	未定
全体	5,472 100.0	101 1.8	281 5.1	932 17.0	290 5.3	61 1.1	131 2.4	180 3.3	333 6.1	599 10.9	315 5.8	549 10.0	675 12.3	1,025 18.7
男性	3,178 100.0	79 2.5	254 8.0	711 22.4	222 7.0	54 1.7	65 2.0	78 2.5	110 3.5	195 6.1	117 3.7	349 11.0	334 10.5	610 19.2
女性	2,294 100.0	22 1.0	27 1.2	221 9.6	68 3.0	7 0.3	66 2.9	102 4.4	223 9.7	404 17.6	198 8.6	200 8.7	341 14.9	415 18.1

【問1で「就職」を選んだ方】

問11 あなたが就職したい職種を教えてください。

【全体】

- ・ 就職したい職種をみると、「専門・技術」(28.9%)の割合が最も高く、次に「技能・労務」(22.0%)、「事務」(16.0%)などの順となった。

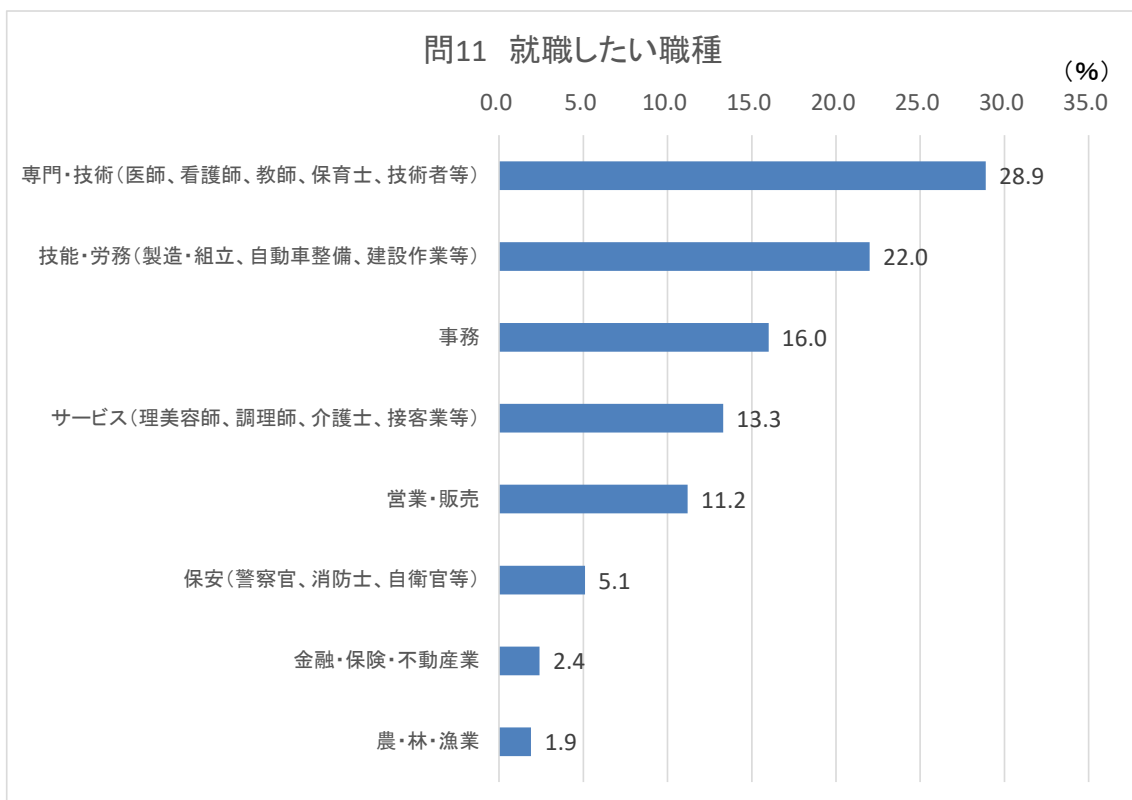
【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、「県南」「福島県外」では「技能・労務」、それ以外の居住地では「専門・技術」の割合がそれぞれ最も高い。



- 現時点で就職を希望している高校生では、医療・福祉系や教育系、技術系などの専門・技術職の人气が最も高い。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	専門・技術(医師、看護師、教師、保育士、技術者等)	事務	営業・販売	サービス(理美容師、調理師、介護士、接客業等)	運輸・通信(運転手、郵便配達、人や物の運搬等)	保安(警察官、消防士、自衛官等)	技能・労務(製造・組立、自動車整備、建設作業等)	農林漁業
全体	5,079 100.0	1,463 28.8	815 16.0	567 11.2	680 13.4	94 1.9	258 5.1	1,117 22.0	85 1.7
県北	1,142 100.0	341 29.9	214 18.7	136 11.9	130 11.4	25 2.2	61 5.3	217 19.0	18 1.6
県中	1,170 100.0	345 29.5	190 16.2	150 12.8	177 15.1	21 1.8	64 5.5	204 17.4	19 1.6
県南	663 100.0	183 27.6	90 13.6	62 9.4	89 13.4	5 0.8	32 4.8	197 29.7	5 0.8
会津	689 100.0	196 28.4	107 15.5	67 9.7	71 10.3	12 1.7	51 7.4	176 25.5	9 1.3
南会津	87 100.0	24 27.6	17 19.5	9 10.3	11 12.6	5 5.7	8 9.2	11 12.6	2 2.3
相双	324 100.0	104 32.1	45 13.9	37 11.4	46 14.2	4 1.2	10 3.1	68 21.0	10 3.1
いわき	986 100.0	268 27.2	148 15.0	105 10.6	154 15.6	21 2.1	32 3.2	236 23.9	22 2.2
福島県外	18 100.0	2 11.1	4 22.2	1 5.6	2 11.1	1 5.6	-	8 44.4	-

【問1で就職（パート、アルバイト）と回答した方】

問12 パート、アルバイトを希望する理由は何ですか。

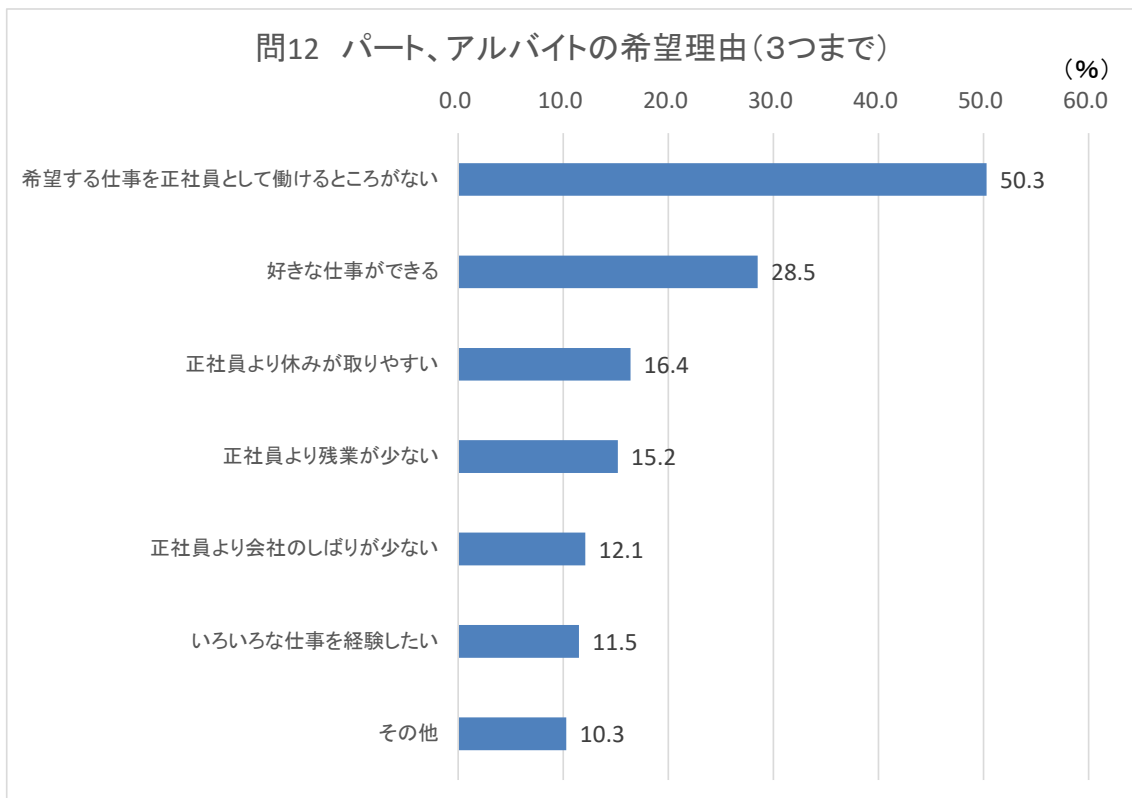
【全体】

- ・ パート、アルバイトを希望する理由をみると、「希望する仕事を正社員として働けるところがない」(50.3%)の割合が最も高く、次に「好きな仕事ができる」(28.5%)、「正社員より休みが取りやすい」(16.4%)などの順となった。



- 高校生がパート、アルバイトを希望する最大の理由は、正社員として希望する仕事に就くことができないことであり、全体の過半数を占めた。

【全体】



問13 あなたはこれからも福島県に住みたいと思いますか。

【全体】

- ・ 福島県の居住意向をみると、「分からない」(38.6%)の割合が最も高く、次に「一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい」(33.7%)、「住みたくない」(15.1%)、「ずっと住みたい」(12.6%)の順となった。

【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、「相双」で「一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい」の割合が最も高かったものの、それ以外の居住地では「分からない」の割合がそれぞれ最も高い。

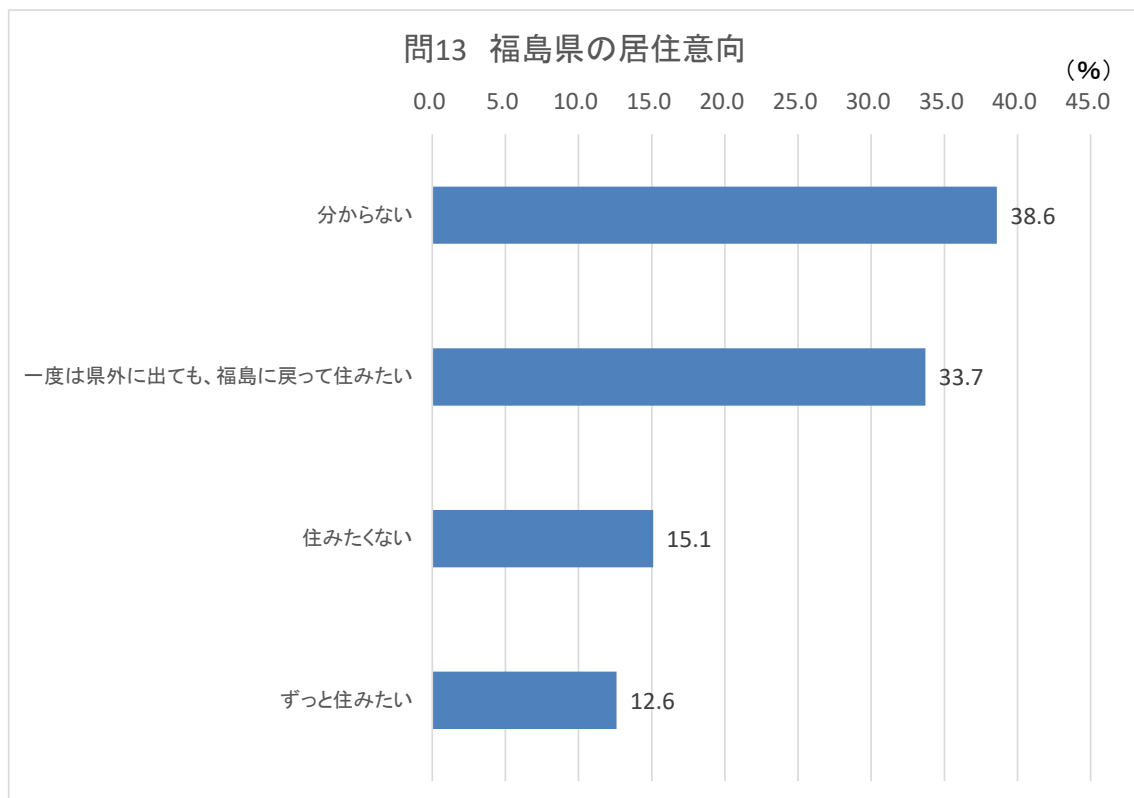
【男女別】

- ・ 男女別にみると、男女とも「分からない」の割合がそれぞれ4割程度を占めて最も高い。



- 県内の高校に通う高校生は、居住地や性別に関わらず、ほぼ半数が福島県に住み続けるか、一度県外に出ても福島県に戻ってくる意思を持っているものと考えられる。一方で、全体の4割程度は「分からない」と回答しており、今後の大学等進学などにより、福島県の居住意向が変わるものとみられる。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	ずっと住みたい	一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい	住みたくない	分からない
全体	10,850 100.0	1,360 12.6	3,685 33.7	1,628 15.1	4,177 38.6
県北	2,635 100.0	358 13.6	956 36.3	319 12.1	1,002 38.0
県中	2,372 100.0	331 14.0	767 32.3	361 15.2	913 38.5
県南	1,335 100.0	155 11.6	447 33.5	215 16.1	518 38.8
会津	1,434 100.0	149 10.4	473 33.0	239 16.7	573 40.0
南会津	176 100.0	17 9.7	57 32.4	32 18.2	70 39.8
相双	711 100.0	79 11.1	260 36.6	117 16.5	255 35.9
いわき	2,144 100.0	264 12.3	722 33.7	333 15.5	825 38.5
福島県外	43 100.0	7 16.3	3 7.0	12 27.9	21 48.8

【男女別】

(単位:件、%)

	合計	ずっと住みたい	一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい	住みたくない	分からない
全体	11,141 100.0	1,401 12.6	3,758 33.7	1,681 15.1	4,301 38.6
男性	5,585 100.0	772 13.8	1,865 33.4	733 13.1	2,215 39.7
女性	5,556 100.0	629 11.3	1,893 34.1	948 17.1	2,086 37.5

【問13で「ずっと住みたい」「一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい」と回答した方】

問14 福島県に住みたい理由を教えてください。

【全体】

- ・ 福島県に住みたい理由をみると、「地元の生活に慣れている」(56.5%)の割合が最も高く、次に「両親や祖父母の近くで生活したい」(37.5%)、「地元で友人、知人が多い」(32.9%)などの順となった。

【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、「南会津」と「福島県外」を除いたすべての居住地で上位3位が「地元の生活に慣れている」「両親や祖父母の近くで生活したい」「地元で友人、知人が多い」となった。

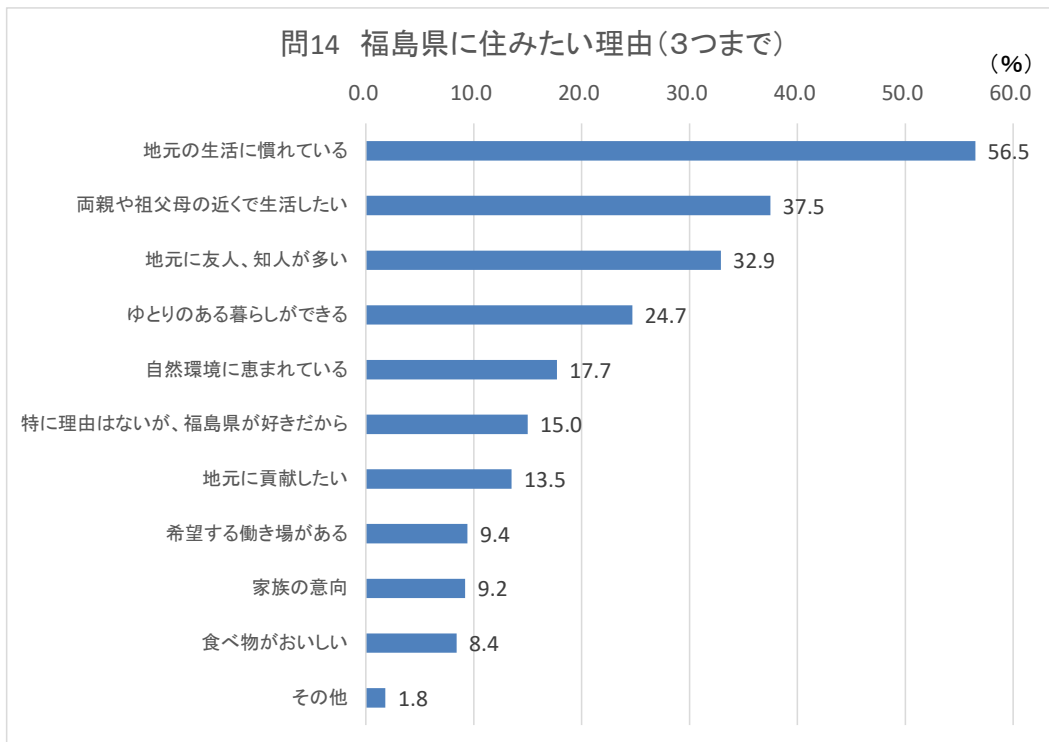
【男女別】

- ・ 男女別にみると、男女とも「地元の生活に慣れている」の割合がそれぞれ過半数を占めて最も高く、次いで、男性では「地元で友人、知人が多い」、女性では「両親や祖父母の近くで生活したい」となった。



- 県内の高校に通う高校生は、居住地や性別に関わらず、地元の生活に慣れていることが福島県に住みたい最大の理由となっている。また、家族や友人、知人が多いなど、人的な結びつきを重視する傾向がみられる。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	両親や祖父母の近くで生活したい	家族の意向	地元の生活に慣れている	地元で友人、知人が多い	希望する働き場がある	ゆとりのある暮らしができる	自然環境に恵まれている	食べ物がおいしい	地元で貢献したい	特に理由はないが、福島県が好きだから	その他
全体	5,038 100.0	1,888 37.5	461 9.2	2,843 56.4	1,648 32.7	472 9.4	1,244 24.7	887 17.6	428 8.5	686 13.6	757 15.0	87 1.7
県北	1,311 100.0	505 38.5	138 10.5	766 58.4	453 34.6	88 6.7	315 24.0	229 17.5	126 9.6	177 13.5	220 16.8	23 1.8
県中	1,092 100.0	391 35.8	105 9.6	599 54.9	337 30.9	106 9.7	265 24.3	173 15.8	78 7.1	146 13.4	181 16.6	19 1.7
県南	605 100.0	215 35.5	50 8.3	350 57.9	216 35.7	84 13.9	163 26.9	114 18.8	56 9.3	66 10.9	87 14.4	8 1.3
会津	623 100.0	234 37.6	44 7.1	351 56.3	192 30.8	71 11.4	176 28.3	155 24.9	85 13.6	90 14.4	74 11.9	10 1.6
南会津	74 100.0	25 33.8	2 2.7	36 48.6	9 12.2	9 12.2	19 25.7	14 18.9	5 6.8	17 23.0	12 16.2	4 5.4
相双	333 100.0	136 40.8	37 11.1	171 51.4	109 32.7	23 6.9	71 21.3	57 17.1	19 5.7	65 19.5	45 13.5	6 1.8
いわき	991 100.0	380 38.3	85 8.6	566 57.1	331 33.4	90 9.1	233 23.5	143 14.4	59 6.0	123 12.4	135 13.6	17 1.7
福島県外	9 100.0	2 22.2	-	4 44.4	1 11.1	1 11.1	2 22.2	2 22.2	-	2 22.2	3 33.3	-

【男女別】

(単位:件、%)

	合計	両親や祖父母の近くで生活したい	家族の意向	地元の生活に慣れている	地元で友人、知人が多い	希望する働き場がある	ゆとりのある暮らしができる	自然環境に恵まれている	食べ物がおいしい	地元で貢献したい	特に理由はないが、福島県が好きだから	その他
全体	5,151 100.0	1,930 37.5	471 9.1	2,910 56.5	1,693 32.9	483 9.4	1,274 24.7	913 17.7	434 8.4	695 13.5	776 15.1	92 1.8
男性	2,632 100.0	749 28.5	187 7.1	1,535 58.3	952 36.2	252 9.6	656 24.9	455 17.3	208 7.9	324 12.3	433 16.5	55 2.1
女性	2,519 100.0	1,181 46.9	284 11.3	1,375 54.6	741 29.4	231 9.2	618 24.5	458 18.2	226 9.0	371 14.7	343 13.6	37 1.5

【問13で「住みたくない」と回答した方】

問15 福島県に住みたくない理由を教えてください。

【全体】

- ・ 福島県に住みたくない理由をみると、「都会の方が便利そう」（52.1％）の割合が最も高く、次に「他に住んでみたい地域がある」（50.7％）、「交通が不便」（28.4％）などの順となった。

【居住地別】

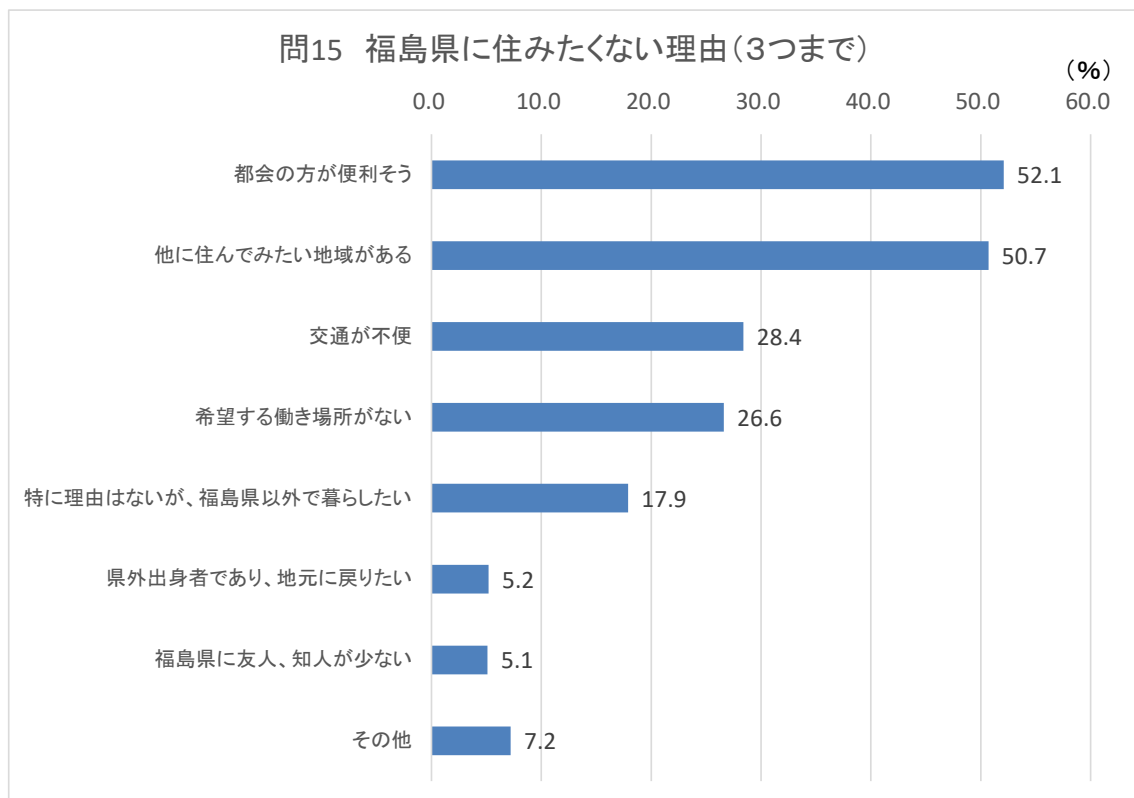
- ・ 居住地別にみると、「福島県外」で「県外出身者であり、地元に戻りたい」の割合が最も高かったのを除いて、すべての居住地で「都会の方が便利そう」または「他に住んでみたい地域がある」の割合が最も高かった。

【男女別】

- ・ 男女別にみると、男性では「都会の方が便利そう」、女性では「他に住んでみたい地域がある」の割合がそれぞれ最も高かった。

- ▼
- 県内の高校に通う高校生は、福島県内に希望する働き場所がないなどの就職面よりも、都会の利便性や他県に住んでみたいなどの生活面を重視していることから、福島県に住みたくないものとみられる。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	他に住んでみたい地域がある	都会の方が便利そう	福島県に友人、知人が少ない	希望する働き場所がない	交通が不便	県外出身者であり、地元に戻りたい	特に理由はないが、福島県以外で暮らしたい	その他
全体	1,704 100.0	864 50.7	894 52.5	89 5.2	454 26.6	484 28.4	88 5.2	301 17.7	122 7.2
県北	356 100.0	167 46.9	175 49.2	19 5.3	82 23.0	90 25.3	25 7.0	81 22.8	27 7.6
県中	381 100.0	207 54.3	209 54.9	17 4.5	85 22.3	97 25.5	18 4.7	71 18.6	32 8.4
県南	214 100.0	123 57.5	108 50.5	5 2.3	52 24.3	58 27.1	7 3.3	37 17.3	15 7.0
会津	245 100.0	123 50.2	140 57.1	15 6.1	88 35.9	80 32.7	12 4.9	34 13.9	14 5.7
南会津	34 100.0	15 44.1	21 61.8	4 11.8	5 14.7	15 44.1	2 5.9	4 11.8	2 5.9
相双	120 100.0	52 43.3	66 55.0	11 9.2	39 32.5	40 33.3	7 5.8	18 15.0	5 4.2
いわき	343 100.0	173 50.4	173 50.4	14 4.1	101 29.4	101 29.4	12 3.5	55 16.0	27 7.9
福島県外	11 100.0	4 36.4	2 18.2	4 36.4	2 18.2	3 27.3	5 45.5	1 9.1	- -

【男女別】

(単位:件、%)

	合計	他に住んでみたい地域がある	都会の方が便利そう	福島県に友人、知人が少ない	希望する働き場所がない	交通が不便	県外出身者であり、地元に戻りたい	特に理由はないが、福島県以外で暮らしたい	その他
全体	1759 100.0	891 50.7	919 52.2	90 5.1	468 26.6	498 28.3	91 5.2	315 17.9	127 7.2
男性	781 100.0	379 48.5	411 52.6	45 5.8	195 25.0	192 24.6	40 5.1	150 19.2	65 8.3
女性	978 100.0	512 52.4	508 51.9	45 4.6	273 27.9	306 31.3	51 5.2	165 16.9	62 6.3

問 16 福島県内での進学・就職希望者を増やすにはどんな条件・環境が必要だと思いますか。

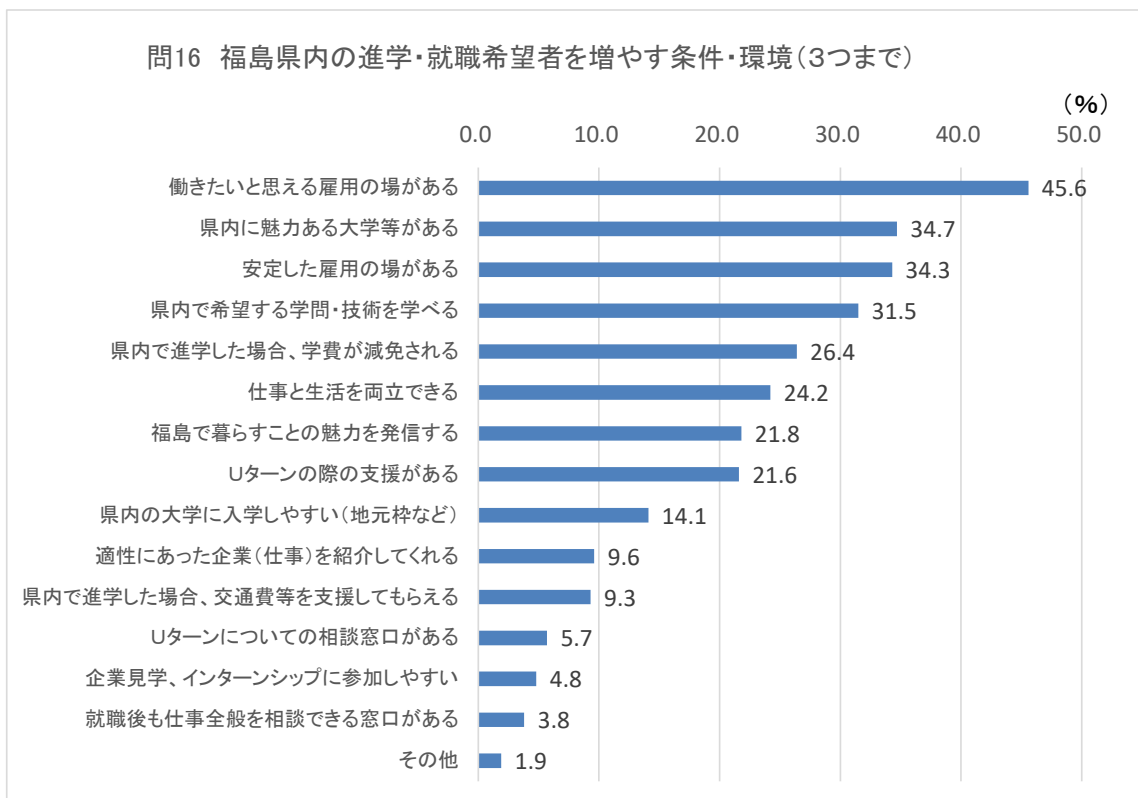
【全体】

- ・ 福島県内での進学・就職希望者を増やすための条件・環境をみると、「働きたいと思える雇用の場がある」(45.6%)の割合が最も高く、次いで、「県内に魅力ある大学等がある」(34.7%)、「安定した雇用の場がある」(34.3%)の順となった。



- 福島県内の進学・就職希望者を増やすためには、県内における魅力的な就職先や大学などの存在が重要となる。

【全体】



問 17 福島県の復興は進んでいると思いますか。

【全体】

- ・ 福島県の復興が進んでいると思うのか尋ねたところ、「どちらかと言えばそう思う」(42.8%)の割合が最も高く、「そう思う」(30.0%)との合計割合は72.8%となり、復興の進捗度合に対して肯定的な回答が7割超を占めた。

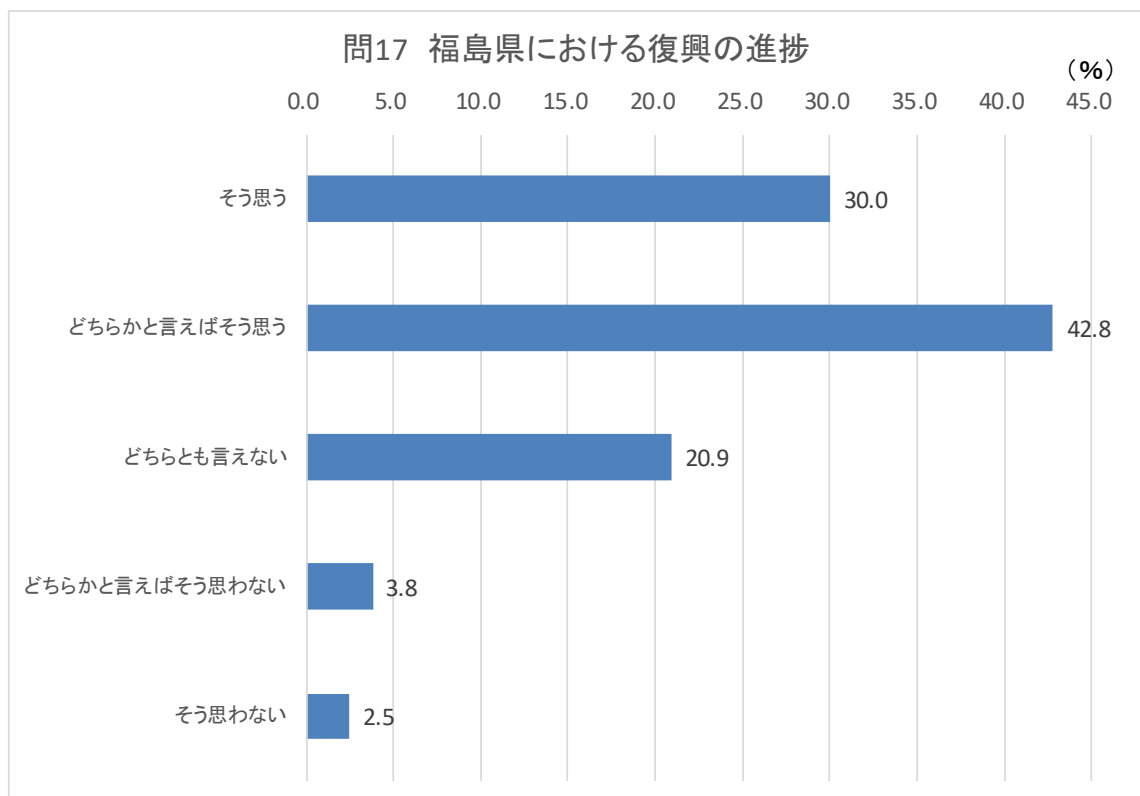
【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、すべての居住地で「どちらかと言えばそう思う」の割合が最も高く、「そう思う」との合計割合は過半数を占めている。一方で、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」の合計割合は、すべての居住地で1割程度にとどまっている。



- 福島県内の高校に通う高校生では、居住地の違いに関わらず、福島県の復興は進んでいるとの認識を持っている生徒が多数を占めている。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも言え ない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
全体	11,761 100.0	3,532 30.0	5,029 42.8	2,450 20.8	455 3.9	295 2.5
県北	2,813 100.0	827 29.4	1,188 42.2	609 21.6	108 3.8	81 2.9
県中	2,598 100.0	834 32.1	1,067 41.1	526 20.2	107 4.1	64 2.5
県南	1,451 100.0	440 30.3	651 44.9	289 19.9	46 3.2	25 1.7
会津	1,551 100.0	435 28.0	656 42.3	346 22.3	67 4.3	47 3.0
南会津	187 100.0	51 27.3	72 38.5	44 23.5	13 7.0	7 3.7
相双	779 100.0	222 28.5	380 48.8	136 17.5	26 3.3	15 1.9
いわき	2,337 100.0	710 30.4	996 42.6	492 21.1	86 3.7	53 2.3
福島県外	45 100.0	13 28.9	19 42.2	8 17.8	2 4.4	3 6.7

問18 福島県の復興を進めるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

【全体】

- ・ 福島県の復興を進めるには、どのような取り組みが必要だと思うのか尋ねたところ、「避難地域の復興」(38.1%)の割合が最も高く、次いで、「環境の回復」(37.2%)、「子育て・教育環境の整備」(35.8%)、「被災者の生活再建」(31.9%)が3割を超えた。

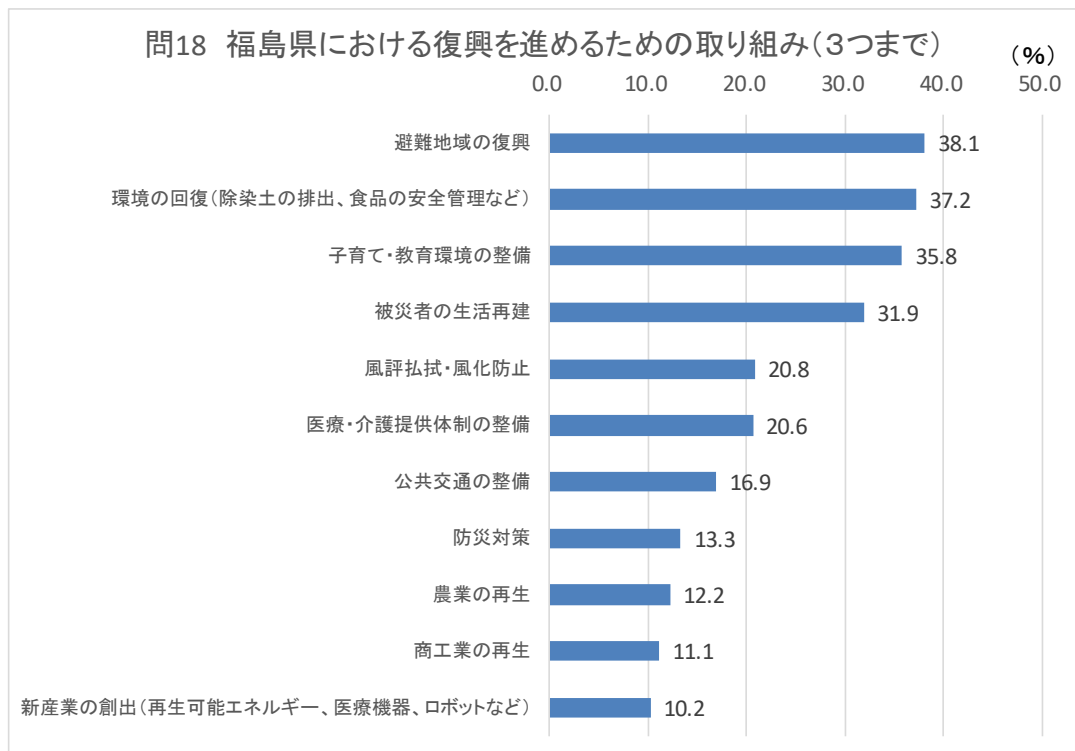
【居住地別】

- ・ 居住地別にみると、「県北」「県南」「会津」「南会津」では「避難地域の復興」、「県中」「いわき」「福島県外」では「環境の回復」、「相双」では「子育て・教育環境の整備」の割合がそれぞれ最も高かった。



- ・ 福島県の復興を進めるには、復興の進捗が遅れている避難地域における除染などの環境整備や被災者の生活再建、子育て・教育環境の整備などに優先的に取り組むことが望まれている。施設整備の遅れを実感している「相双」では、特に子育て・教育環境の整備を求めているものとみられる。

【全体】



【居住地別】

(単位:件、%)

	合計	避難地域の復興	被災者の生活再建	環境の回復(除染土の排出、食品の安全管理など)	医療・介護提供体制の整備	子育て・教育環境の整備	農業の再生	商工業の再生	新産業の創出(再生可能エネルギー、医療機器、ロボットなど)	風評払拭・風化防止	公共交通の整備	防災対策
全体	11,240 100.0	4,290 38.2	3,583 31.9	4,185 37.2	2,313 20.6	4,028 35.8	1,381 12.3	1,253 11.1	1,140 10.1	2,335 20.8	1,906 17.0	1,487 13.2
県北	2,677 100.0	976 36.5	839 31.3	945 35.3	551 20.6	1,082 40.4	358 13.4	329 12.3	279 10.4	567 21.2	425 15.9	305 11.4
県中	2,506 100.0	987 39.4	847 33.8	989 39.5	479 19.1	870 34.7	318 12.7	254 10.1	247 9.9	568 22.7	350 14.0	330 13.2
県南	1,406 100.0	555 39.5	485 34.5	551 39.2	302 21.5	499 35.5	154 11.0	126 9.0	151 10.7	290 20.6	254 18.1	189 13.4
会津	1,460 100.0	638 43.7	564 38.6	542 37.1	283 19.4	478 32.7	165 11.3	163 11.2	137 9.4	314 21.5	238 16.3	165 11.3
南会津	160 100.0	65 40.6	59 36.9	52 32.5	36 22.5	52 32.5	19 11.9	20 12.5	9 5.6	28 17.5	35 21.9	22 13.8
相双	734 100.0	227 30.9	170 23.2	240 32.7	189 25.7	298 40.6	95 12.9	128 17.4	88 12	149 20.3	160 21.8	101 13.8
いわき	2,261 100.0	831 36.8	613 27.1	852 37.7	466 20.6	742 32.8	267 11.8	226 10.0	222 9.8	413 18.3	438 19.4	370 16.4
福島県外	36 100.0	11 30.6	6 16.7	14 38.9	7 19.4	7 19.4	5 13.9	7 19.4	7 19.4	6 16.7	6 16.7	5 13.9

問 19 福島県の復興に何らかの形で関わっていきたいと思いますか。

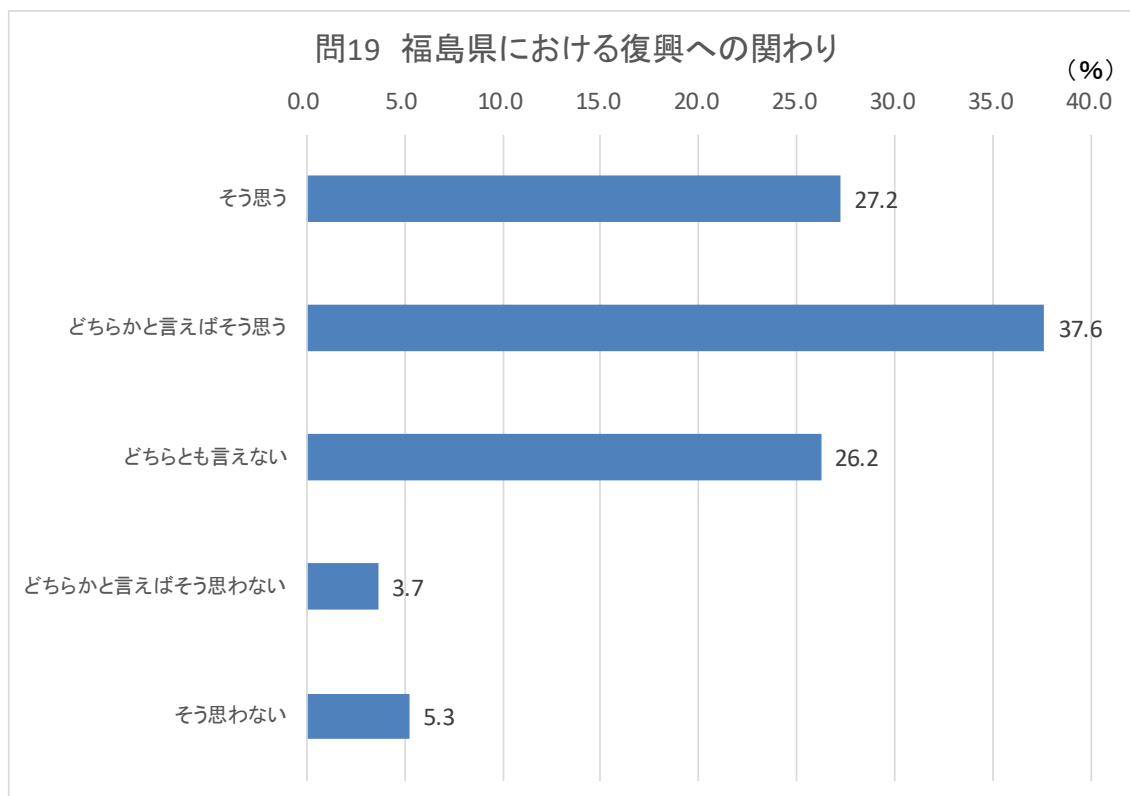
【全体】

- ・ 福島県の復興に何らかの形で関わっていきたいと思うのか尋ねたところ、「どちらかと言えばそう思う」(37.6%) の割合が最も高く、「そう思う」(27.2%) との合計割合は 64.8% となり、復興に関わっていきたいとの回答割合が過半数を占めた。一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」の合計割合は 10% 未満となったものの、「どちらとも言えない」(26.2%) が「そう思う」とほぼ同率となった。



- 福島県の高校生は、総体的にみると復興に関わっていきたいとの意識が高いものとみられる。但し、これからの福島県の復興を担う高校生で、積極的に復興に関わろうとしない「どちらとも言えない」の回答割合が「そう思う」とほとんど変わらないのは福島県の復興における懸念材料ともいえる。

【全体】



問 20 これから福島県がどのような県になってほしいと思いますか。

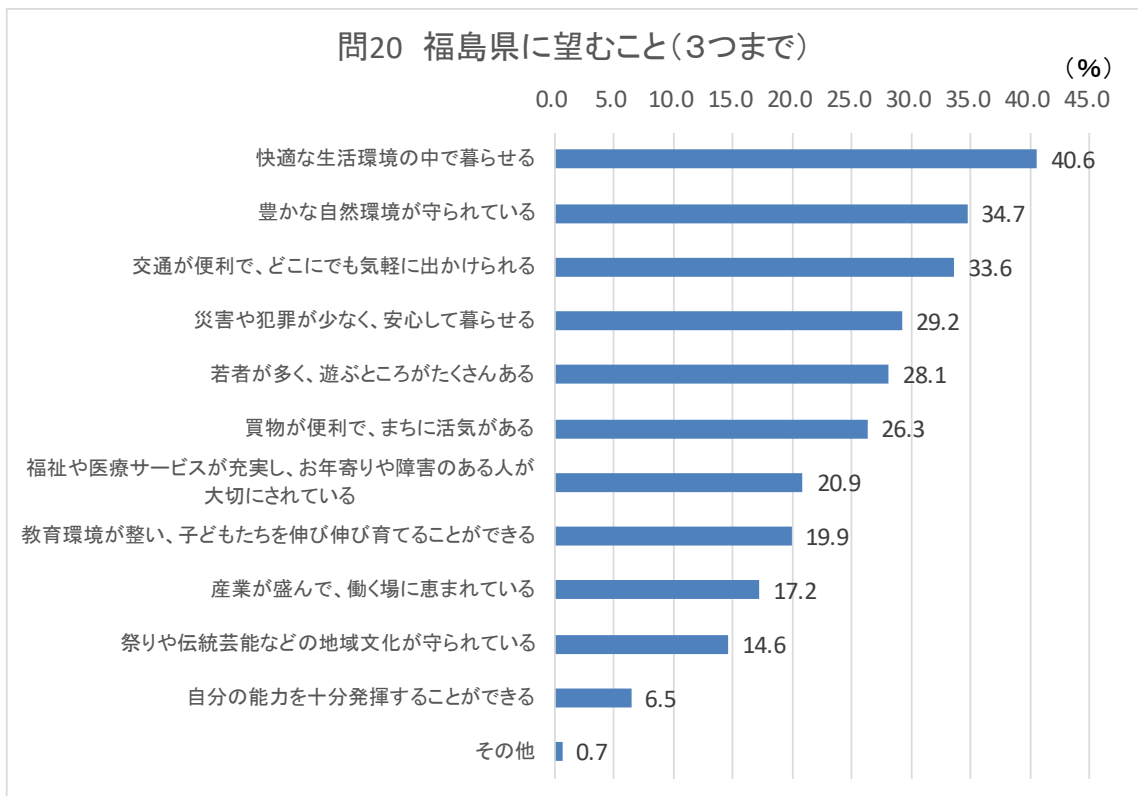
【全体】

- ・ これから福島県がどのような県になってほしいと思うのか尋ねたところ、「快適な生活環境の中で暮らせる」(40.6%)の割合が最も高かった。次いで、「豊かな自然環境が守られている」(34.7%)、「交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる」(33.6%)、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる」(29.2%)などの順となった。



- 福島県の高校生は、これからの福島県に対して、快適で安心・安全な生活環境が確保されていることや、豊かな自然環境が守られる一方で、交通網が整備され、これまで以上に利便性が向上することなどに期待している。

【全体】



問 21 福島県のこれからについて、どのように思っていますか。

以下では、福島県の高校生が、福島県の将来について思っていることを記述した自由意見のうち、100件を超えた意見をまとめてみた。

○復興（446件）

- ・福島は復興が進んでいるので、これからは元の福島に戻すのではなく、どんどん魅力を発信して、震災前より活気あふれる福島になっていけばいいなと思います。
- ・福島に住んでいる人々が歴史を理解し、それを誇りにしていくことが人々の心をいやし、自信をつけていくことになり、心の復興が進むと思う。
- ・復興を少しでも早めて避難地域が避難解除になり、そこにたくさんの人が安心して暮らせるようになってほしいと思う。

○安全・安心（202件）

- ・福島県は、これからも災害を起こさないように、安全な生活を送れるようにして欲しいと思っています。
- ・福島県、そして福島県産の食材や農作物の安全性をこれからも国内外にアピールしていく必要があると思います。
- ・福島は安全だと証明するために、もっと他県の人々や外国の方に福島に来てもらい、安全であるということを日本、そして世界に発信してもらわなければならないと思う。

○自然（180件）

- ・生活しやすい場所になってほしいと思います。自然を大切に豊かに暮らせるような県になってほしいです。
- ・森や自然などをこわしてまで、あまり都市部をふやしてほしくない。自然が豊かな福島でいてほしい。
- ・福島県は食べ物がおいしく、自然に恵まれています。これからも、快適で、誰もが訪れたいような福島であってほしいです。

○交通（150件）

- ・福島市や郡山市などの都市部の交通網は安定しているが、郊外の方へ行ってしまうと不十分なところが多いと感じる。
- ・車社会における福島県は交通の便、特に公共交通機関の本数が乏しいと思う。公共交通機関の発達によって人の動きが活発になれば、福島県全体の活性化につながると思う。
- ・交通機関がもっと発達して、どこにでも気軽に出かけられるようになれば、福島に住む人も増えると思う。

○商業施設（146件）

- ・関東にあるような大型商業施設を、若い人を中心に、色々な世代のニーズに合わせて作って欲しい。
- ・もっと商業施設を活性化し、積極的に流行を追う等するべきだと思う。薄っぺらい流行かもしれないが、そういったものがないと、若者はどうしても外へ出て行きがちなので、積極的にとりいれて行ってほしい。
- ・福島市、福島駅前には、若者が好むような店、商業施設が少ないと思う。大型の商業施設・ショッピングモール等があれば、消費者が県外に流れるのも防げると思った。

○遊興施設（136件）

- ・福島県には若者が遊ぶところが少なすぎ。だから外に出ていく人が多くなる。
- ・若者向けの場所が少ないからすぐ飽きるし、県外の方がいいと思っちゃうから、楽しめる場、遊園地とか、もっと出来てほしいと思う。
- ・若者からみた福島は遊ぶ場所も少なく、都会に憧れる人も多いのかなあとと思います。

○風評（119件）

- ・根強い風評被害は未だに残っている。これを払拭できれば、大きく復興に近づくのではないか。
- ・未だに国内のみならず、海外からも風評被害が続いている。今こそ、福島県の海産・農産物は通常よりも検査を重ねた真の安全品ということを広めていきたい。
- ・今でも風評被害が続く中、若い世代の人達が福島県産の農畜産物を流通していけば、少しは他の地域の人に福島県の魅力が伝わるのではないかと思います。

○高齢者（110件）

- ・福島は高齢者が多いので、バリアフリーを増やしてほしい。
- ・山間部などで、きれいな自然を守りつつ、公共交通機関などを発達させて、高齢者が住みやすい街にしていきたい。
- ・少子化、高齢化が進行しているので、高齢者を大切にするための事業につなげたりしていけば、少なくとも幸せに暮らせる人は増えると思う。

3. まとめ

○進路

- ・ 高校生の希望進路は、男性では進学が 6 割超、就職が約 3 割、女性では進学が 7 割超、就職が約 2 割である。

○進学

- ・ 大学に進学を希望する人のうち、6 割以上が県外への進学を希望している。また、短期大学の進学希望者の約 6 割、専修学校・各種学校の進学希望者の約 4 割が県内の進学を希望している。
- ・ 大学・短期大学、専修学校・各種学校のいずれも、医療関係への進学希望者の割合が最も高い。

○就職

- ・ 高校生の現在における希望勤務地をみると、福島県内の割合が最も高いものの、まだ決めていない者が 3 割程度を占めている。
- ・ 福島県内の勤務を希望している高校生でも、福島県内のどの地域で勤務したいのかまでは決めていないとの回答割合が 3 割超を占めて最も高かった。但し、勤務したい地域を決めているとの回答では、自分の居住地で勤務したいとの割合が最も高かった。
- ・ 就職先を検討する際に重視する点をみると、総体では給料の高さを最も重視するものとみられる。
- ・ 具体的な就職したい業種を決めている高校生では、男性が製造業、女性が医療・福祉の割合が最も高い。
- ・ 勤務地の希望理由をみると、仕事よりも利便性や生活面を優先的に考えて選択している傾向がうかがえる。

○福島県の居留意向

- ・ 福島県の高校生は、居住地や性別に関わらず、ほぼ半数が福島県に住み続けるか、一度県外に出ても福島県に戻ってくる意思を持っているものとみられる。一方で、全体の 4 割程度は「分からない」と回答しており、今後の大学等進学により、福島県の居留意向が変わる可能性がある。
- ・ 福島県に住みたいのは、地元の生活に慣れていることが最大の理由となっている。また、家族や友人、知人が多いなど、人的な結びつきを重視する傾向がみられる。
- ・ 福島県内の進学・就職希望者を増やすためには、県内における魅力的な就職先や大学などの存在が重要となる。

○復興

- ・福島県の復興は進んでいるとの認識を持っている生徒が過半数を占めている。
- ・福島県の復興を進めるには、避難地域の復興や除染などによる環境の回復、子育て・教育環境の整備、被災者の生活再建などに取り組むべきとの回答が多かった。
- ・福島県の高校生では、復興に関わりたいとの回答割合が復興に関わりたくないとの回答割合を大きく上回っている。

○自由意見

- ・福島県の復興は進んでいるとの認識を持ちながらも、復興の道半ばであることから、早期の復興や風評被害の払拭を願う意見が数多く見られた。そして、そのためには、福島県産の食材や農作物の安全性を国内外に強くアピールしていく必要があるとの声もあった。
- ・若者の福島県定住促進に対する意見では、本県の有効な資源である豊かな自然を守りつつも、交通網を整備して利便性を向上させるとともに、商業施設や遊興施設を増やすなど、若者のライフスタイルに合った環境整備も重要であるとの意見が寄せられた。
- ・高齢化社会に対する意見では、本県は高齢化の進行が著しいので、バリアフリーを増やしたり、公共交通機関などを発達させたりして、高齢者が住みやすいまちづくりを進めることが望まれるとの意見があった。

福島県進路希望調査(高校生)

～ご協力のお願～

福島県では、将来を担う若い皆さんの意向を施策に反映させるため、県内の高校2年生を対象に、進路希望に関するアンケートを行います。

この調査は、誰がどのような回答をしたのかは明らかにしませんので、日頃の率直な考えをお答えください。ご協力をお願いいたします。

【回答にあたってのお願い】

- ・質問文を読み、当てはまる選択肢の番号に○を付けてください。
- ・回答数の指定がありますので、設問文の案内に沿って回答してください。
- ・その他の（ ）内や自由意見欄には、あなたの考えや意見を具体的に記入してください。

【問い合わせ先】

福島県 復興・総合計画課

電話：024-521-7809（受付時間 平日8:30～17:15）

E-mail：chiikisousei@pref.fukushima.lg.jp

はじめに、あなた自身のことについてお伺いします

F 1 性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性

F 2 今、お住まいの地域を教えてください。

※ 県内の地域区分が分からない場合は、（ ）に市町村名を記入してください。

- 1 県北 2 県中 3 県南 4 会津 5 南会津
6 相双 7 いわき （市町村名： ） 8 福島県外

F 3 通っている学校の所在地域を教えてください。

※ 地域区分が分からない場合は、（ ）に市町村名を記入してください。

- 1 県北 2 県中 3 県南 4 会津 5 南会津
6 相双 7 いわき （市町村名： ）

F 4 在籍している学科を教えてください。

- | | | |
|----------|------|------|
| 1 普通・普通系 | 2 総合 | 3 農業 |
| 4 工業 | 5 商業 | 6 水産 |

I 高校卒業後の進路(希望)についてお伺いします

問1 卒業後の進路(希望)を教えてください(1つ)

【進学】

- | | | |
|-------------|--------|-----------|
| 1 大学 | 2 短期大学 | 【1、2→問2へ】 |
| 3 専修学校・各種学校 | 4 その他 | 【3、4→問3へ】 |

【就職】

- | | | |
|-------------|--------------------|-----------|
| 5 正社員(正規雇用) | 6 パート、アルバイト(非正規雇用) | |
| 7 自営業・自由業 | 8 その他 | 【5～8→問6へ】 |

【その他】

- 9 未定 【→問13へ】

【問1で「進学(1(大学)又は2(短期大学))」を選択した方に伺います】

問2 希望する学部・学科を教えてください(1つ)

- 1 人文科学(文学、史学等)
- 2 社会科学(法学、政治学、商学、経済学等)
- 3 理学(数学、物理学、化学、生物等)
- 4 工学・工業(機械工学、土木建築、応用化学等)
- 5 農学・農業(農芸化学、林学、獣医学等)
- 6 保健(医学、歯学、薬学、看護学等)
- 7 家政
- 8 教育
- 9 芸術
- 10 その他
- 11 まだ決めていない

【→問4へ】

【問1で「進学（3（専修学校等）又は4（その他）」を選択した方に伺います】

問3 希望する分野を教えてください（1つ）

- 1 工業関係（情報処理、自動車整備、土木建築等）
- 2 農業関係（農業、園芸等）
- 3 医療関係（看護、理学・作業療法、歯科衛生等）
- 4 衛生関係（理美容、栄養、調理、製菓等）
- 5 教育・社会福祉関係（保育士、介護福祉等）
- 6 商業実務関係（ビジネス、旅行、簿記等）
- 7 服飾・家政関係（和洋裁、ファッションビジネス等）
- 8 文化・教養関係（デザイン、音楽、外国語等）
- 9 その他
- 10 まだ決めていない

【→問4へ】

【問1で「進学（1～4）」と回答した方にお伺いします 【問4～5】】

問4 希望する学校の所在地域を教えてください（1つ）

- 1 福島県内
- 2 東北（福島県を除く）
- 3 関東
- 4 その他国内
- 5 国外
- 6 まだ決めていない

【→問5へ】

問5 問4の回答理由を教えてください（当てはまるものすべて）

- 1 希望する学部・学科がある
- 2 希望する学校がある
- 3 将来の就職に有利
- 4 自分の偏差値に合っている学校がある
- 5 希望する場所に住みたい
- 6 通学に便利
- 7 家族の意向
- 8 経済的理由
- 9 その他

【→問13へ】

【問1で「就職（5～8）」を選択した方に伺います〔問6～7〕】

問6 就職先を検討する際、重視することは何ですか（3つまで）

- 1 仕事のやりがい
- 2 自分の能力や適性に合っている
- 3 給料の高さ
- 4 安定した雇用
- 5 柔軟な働き方ができる
- 6 希望する場所で働ける
- 7 将来性
- 8 技術力の高さ
- 9 知名度
- 10 経営陣の魅力
- 11 その他（ ）

【→問7へ】

問7 将来、どの地域で働きたいですか（1つ）

- 1 福島県内 【1→問8へ】
- 2 東北地域（福島県を除く）
- 3 関東
- 4 その他国内
- 5 国外
- 6 まだ決めていない

【2～6→問9へ】

【問7で「1（将来、福島県内で働きたい）」を選択した方に伺います。】

問8 将来、県内のどの地域で働きたいですか（1つ）

※ 地域区分が分からない場合は、（ ）に市町村名を記入してください。

- 1 県北
- 2 県中
- 3 県南
- 4 会津
- 5 南会津
- 6 相双
- 7 いわき（市町村名： ）
- 8 まだ決めていない

【→問9へ】

【問1で「就職（5～8）」を選択した方に伺います〔問9～11〕】

問9 問7の回答（どの地域で働きたいか）の理由を教えてください（3つまで）

- 1 希望する企業がある
- 2 希望する業種がある（多い）
- 3 希望する給与水準にある
- 4 希望する場所に住みたい
- 5 通勤に便利
- 6 家族の意向
- 7 福島の復興・発展に貢献したい
- 8 その他（ ）

【→問10へ】

問 10 あなたが、就きたい業種を教えてください（1つ）

- 1 農・林・漁業
- 2 鉱業・建築業
- 3 製造業
- 4 情報通信業
- 5 運輸業
- 6 金融・保険・不動産業
- 7 卸売・小売業
- 8 宿泊・飲食サービス業
- 9 医療・福祉
- 10 教育・学習支援
- 11 公務
- 12 その他
- 13 未定

【→問 11 へ】

問 11 あなたが、就きたい職種を教えてください（1つ）

- 1 専門・技術（医師、看護師、教師、保育士、技術者等）
- 2 事務
- 3 営業・販売
- 4 サービス（理美容師、調理師、介護士、接客等）
- 5 運輸・通信（運転手、郵便配達、人や物の運搬等）
- 6 保安（警察官、消防士、自衛官等）
- 7 技能・労務（製造・組立、自動車整備、建設作業等）
- 8 農林漁業

【→問 13 へ】

※パート、アルバイト希望の方は【問 12→問 13 へ】

【問1で「就職（6 パート、アルバイト）」を選択した方に伺います】

問12 あなたが、パート、アルバイト等を希望する理由を教えてください（3つまで）

- 1 希望する仕事を正社員として働けるところがない
- 2 好きな仕事ができる
- 3 正社員より休みが取りやすい
- 4 正社員より残業が少ない
- 5 正社員より会社のしぼりが少ない
- 6 いろいろな仕事を経験したい
- 7 その他（ ）

【→問13へ】

II 将来の暮らしについてお伺いします

【全員に伺います】

問13 あなたは、これからも福島県に住みたいと思いますか（1つ）

- 1 ずっと住みたい
- 2 一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい
- 3 住みたくない 【→問15へ】
- 4 分からない 【→問16へ】

【1、2→問14へ】

【問13で「福島県に住みたい（1又は2）」を選択した方に伺います。】

問14 問13の回答（福島県に住みたい）の理由を教えてください。（3つまで）

- 1 両親や祖父母の近くで生活したい
- 2 家族の意向
- 3 地元の生活に慣れている
- 4 地元で友人、知人が多い
- 5 希望する働き場所がある
- 6 ゆとりのある暮らしができる
- 7 自然環境に恵まれている
- 8 食べ物がおいしい
- 9 地元で貢献したい
- 10 特に理由はないが、福島県が好きだから
- 11 その他（ ）

【→問16へ】

【問13で「福島県に住みたくない(3)」を選択した方に伺います。】

問15 問13の回答(福島県に住みたくない)の理由を教えてください(3つまで)

- 1 他に住んでみたい地域がある
- 2 都会の方が便利そう
- 3 福島県に友人、知人が少ない
- 4 希望する働き場所がない
- 5 交通が不便
- 6 県外出身者であり、地元に戻りたい
- 7 特に理由はないが、福島県以外で暮らしたい
- 8 その他 ()

【→問16へ】

【以下、全員に伺います】

問16 福島県内での進学・就職(Uターンを含む)を希望する方が増えるためには、どのような条件・環境が必要だと思いますか。(3つまで)

【学業】

- 1 県内で希望する学問・技術を学べる
- 2 県内に魅力ある大学等がある
- 3 県内の大学等に入学しやすい(地元卒など)
- 4 県内で進学した場合、学費が減免される
- 5 県内で進学した場合、交通費等を支援してもらえる

【仕事】

- 6 働きたいと思える雇用の場がある
- 7 安定した雇用の場がある
- 8 仕事と生活を両立できる
- 9 企業見学、インターンシップに参加しやすい
- 10 適性にあった企業(仕事)を紹介してくれる
- 11 就職後も、仕事全般を相談できる窓口がある

【Uターン】

- 12 Uターンについての相談窓口がある
- 13 Uターンの際の支援がある
- 14 福島で暮らすことの魅力を発信する

【その他】

- 15 その他 ()

【→問17へ】

問 17 福島県の復興は進んでいると思いますか。(1つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかと言えば「そう思う」
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかと言えば「そう思わない」
- 5 そう思わない

【→問 18 へ】

問 18 福島県の復興を進めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。

(3つまで)

- 1 避難地域の復興
- 2 被災者の生活再建
- 3 環境の回復（除染土の排出、食品の安全管理など）
- 4 医療・介護提供体制の整備
- 5 子育て・教育環境の整備
- 6 農業の再生
- 7 商工業の再生
- 8 新産業の創出
（再生可能エネルギー、医療機器、ロボット等）
- 9 風評払拭・風化防止
- 10 公共交通の整備
- 11 防災対策

【→問 19 へ】

問 19 あなたは、福島県の復興に何らかの形で関わっていきたいと思いますか。

(1つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかと言えば「そう思う」
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかと言えば「そう思わない」
- 5 そう思わない

【→問 20 へ】

問 20 これから、福島県がどのような県になってほしいと思いますか。(3つまで)

- 1 豊かな自然環境が守られている
- 2 快適な生活環境の中で暮らせる
- 3 交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる
- 4 産業が盛んで、働く場に恵まれている
- 5 福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障がいのある人が大切にされている
- 6 災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる
- 7 教育環境が整い、子どもたちを伸び伸び育てることができる
- 8 祭りや伝統芸能などの地域文化が守られている
- 9 買い物が便利で、まちに活気がある
- 10 若者が多く、遊ぶところがたくさんある
- 11 自分の能力を十分発揮することができる
- 12 その他 ()

【→問 21 へ】

問 21 福島県のこれからについて、あなたが思っていることを自由にお書きください。

—ご協力ありがとうございました—